KENWOOD

マイクロハイファイコンポーネントシステム

VA-6DVD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-5068-00 00 (CS) (J) AP 0105

本機の特長

DVD ビデオ、MD 標準搭載マイクロシステム

DVD ビデオ再生機能と MD を標準搭載。音楽 DVD ビデオソフトを再生し MD に録音できます。（DVD ビデオ、VCD、MP3 ファイルを MD へ録音するときはアナログ録音になります。）

"uni round speaker" 搭載

1 つのサテライトスピーカーとサブウーファーのみで、リスニングエリアを限定することなく、ステレオサウンドが楽しめます。

MP3 再生機能

MP3 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。

MD ロングプレイモード対応

ATRAC 3（MDLP）による長時間録音、再生機能（LP2、LP4）を搭載。標準の 2 倍(約 160 分 *）または 4 倍（約 320 分 *）のデジタル長時間録音、再生ができます。
（* 80 分ディスクを使用した場合）

CD → MD High Speed（倍速）ダビング対応

CD から MD へカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。
（CD 以外のディスクは、アナログ録音のため、通常速度の録音のみの対応となります。）

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音 :**
  キーを押すだけで、ディスク 1 枚または 1 曲をカンタンに録音できます。
- **プログラム録音 :**
  好きな曲を好きな曲順で録音できます。(DVD ビデオ、MP3 ファイルはプログラム録音できません。)

便利なタイマー機能

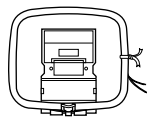
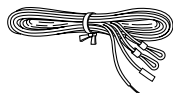
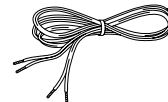
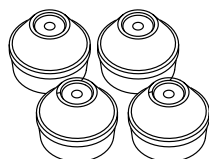
- **スリープタイマー機能 :**
  設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。
- **O.T.T. 機能 :**
  設定した時間になると、1 時間だけ（1 回のみ）動作します。
- **タイマー再生、タイマー録音機能 :**
  タイマー再生（AI タイマー再生）とタイマー録音を 2 系統（PROG.1, PROG.2）設定ができます。（AI タイマーは、タイマー再生開始後、一定のレベルまで徐々に音量が上がります。）

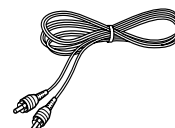
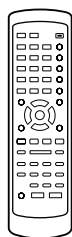
本書で使用しているディスク記号について

ディスクにより、使える機能が異なります。本書では次の記号を使い、その機能が使えるディスクを表しています。

DVD : DVD ビデオで楽しめる機能です。
VCD : VCD で楽しめる機能です。
CD : CD（CD-R/RW）で楽しめる機能です。
MP3 : MP3 ディスクで楽しめる機能です

付属品

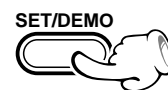
AM ループアンテナ
（1 個）

FM 室内アンテナ
（1 本）

スピーカーコード
（1 本）

スピーカー用脚
（4 個）

サテライトスピーカー用
クッション（4 枚）

ビデオコード
（1 本）

リモートコントロール
ユニット（1 個）

リモコン用単三乾電池
（2 本）

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能 （表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

"DEMO OFF" （デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に **SET/DEMO** キーを押す

"DEMO ON" （デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に **SET/DEMO** キーを 2 秒以上押す

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

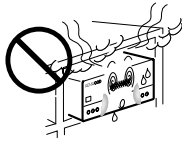
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

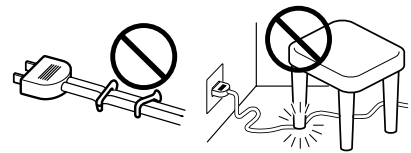
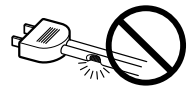
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

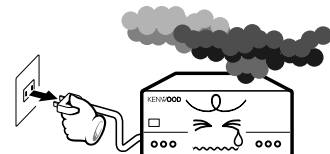
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

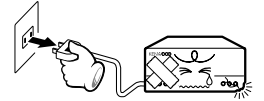
電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

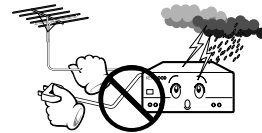
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

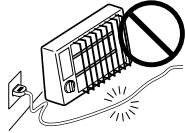
電池は放置しない

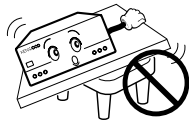
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

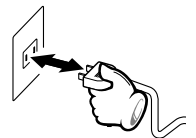
電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

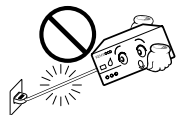
ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

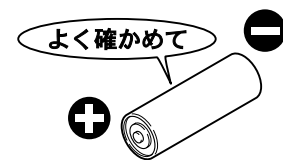
音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら ..." を参照してマイコンをリセットしてください。 →104

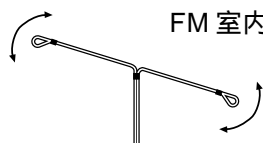
システム（本体）と付属品の接続

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。付属品は、図のように接続してください。

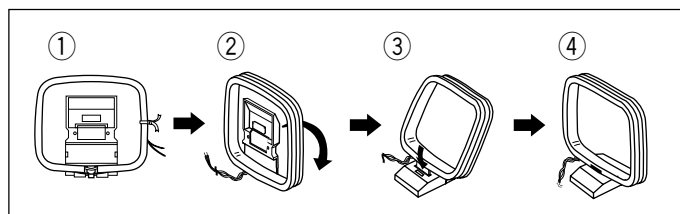
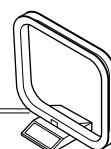
付属アンテナの接続

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。
屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

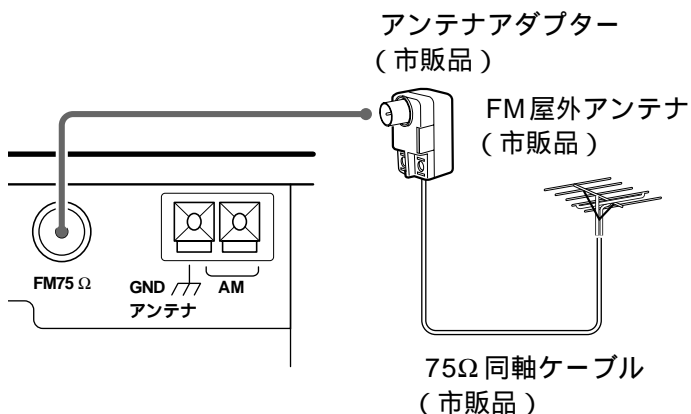
❶ 端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

準備編

FM 屋外アンテナ（市販品）との接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、**FM75 Ω**端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM 室内アンテナは取り外してください。

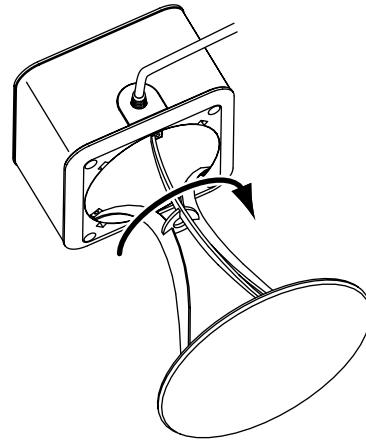
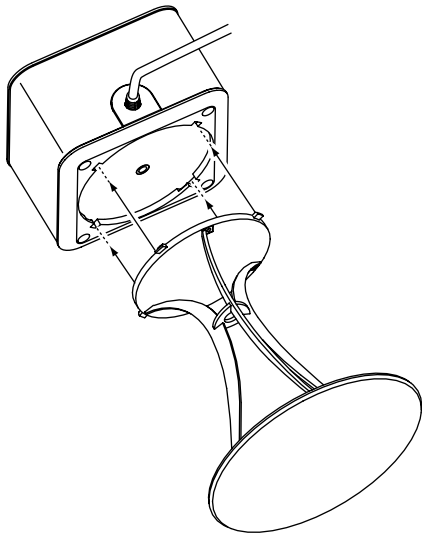
⚠注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

スピーカーの接続

サテライトスピーカーの組み立て方

サテライトスピーカーにはスタンドは取り付けられていません。スタンドをサテライトスピーカーに取り付けてから本体と接続します。お好みによりスタンドを取り付けずに設置できます。その場合付属のクッションをサテライトスピーカーの底面に貼ってください。

❶ サテライトスピーカー本体部の取り付け位置の切り欠に合わせ、スタンドの差し込み口を合わせます。

❷ 止まるまでゆっくり時計回りに回してください。

スピーカーの設置とテレビについて

1. スピーカーの設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してださい。

スピーカーは、図のように接続します。

- スピーカーコードの "＋" と "－" は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。

サブウーファーの前面にある穴に手を入れて持たないでください。またサブウーファーを持つときは底面のスピーカーユニットに触れないようにしてください。

サテライトスピーカー

OPM-SJ5
サテライト
スピーカーへ接続

電源コード

AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

サブウーファー

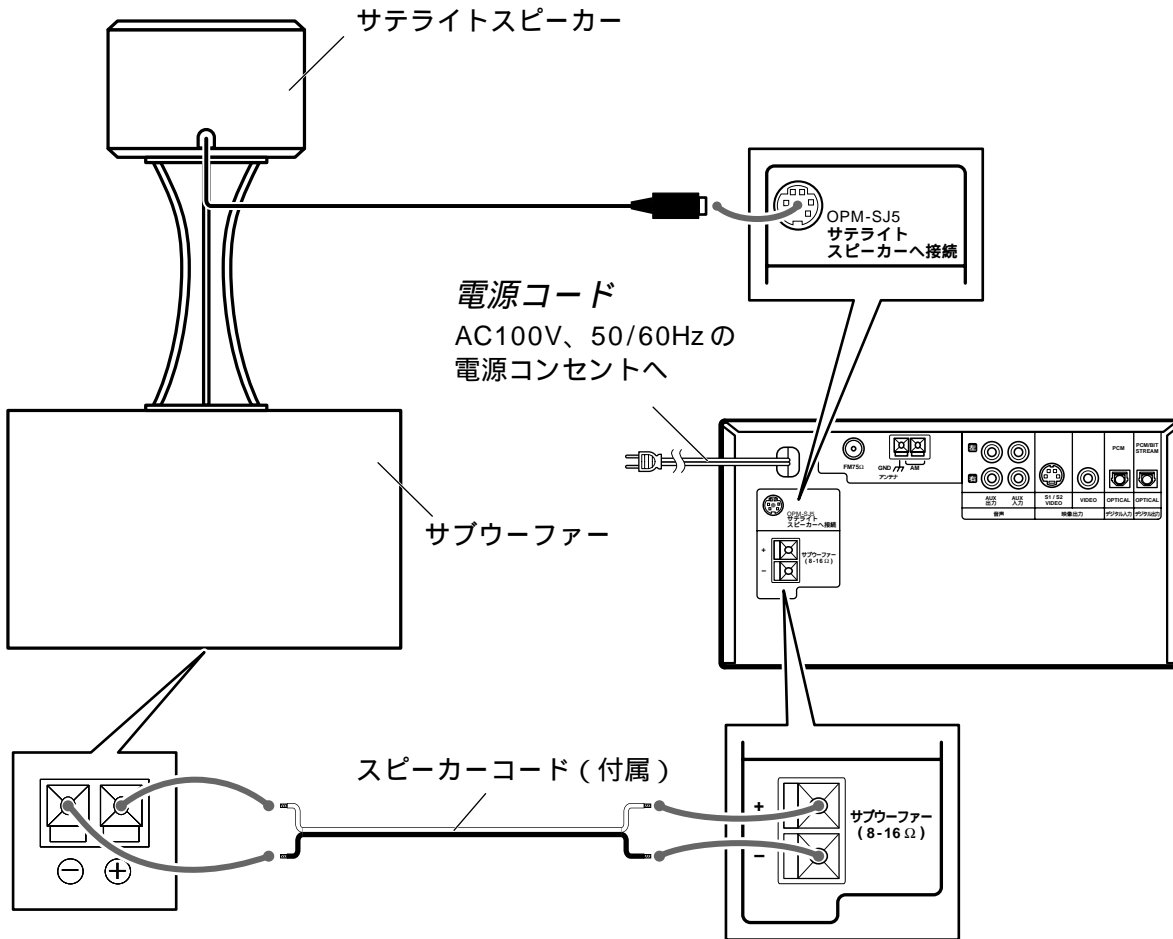
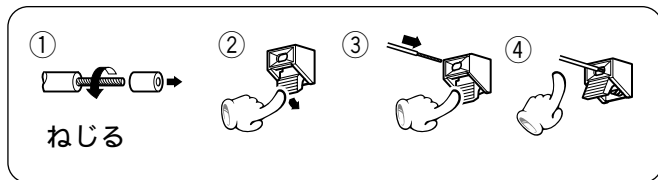
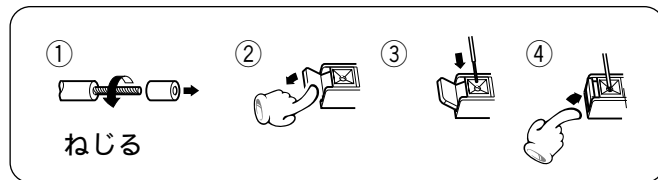
スピーカーコード（付属）

サブウーファー
（8-16Ω）

スピーカー部

①ねじる ② ③ ④

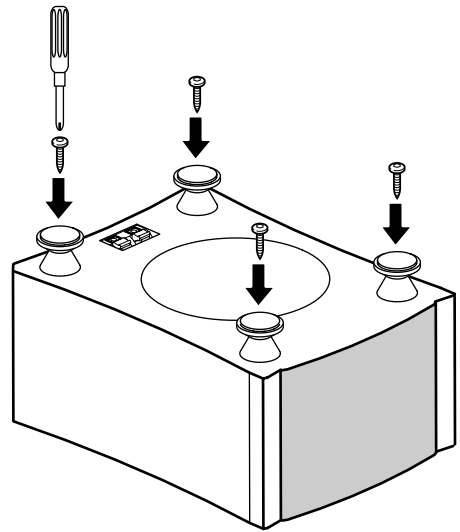
本体部

①ねじる ② ③ ④

1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

付属の脚と交換する

お好みに合わせて、付属のスピーカーの脚を交換してください。

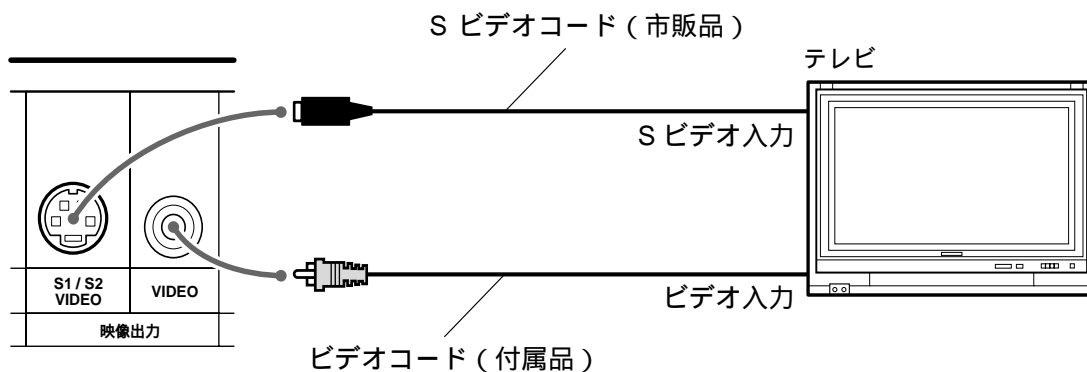
❶ **前後4本の脚を固定しているネジをドライバーを使って取り外します。**

❷ **指定の位置に脚を付け替えネジで固定します。(このとき手順 ❶ で取り外したネジを使って固定します)**

- 脚を取り付けない状態で設置しないでください。

他の機器との接続

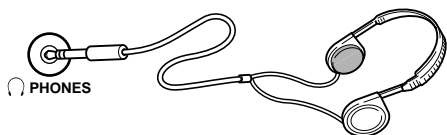
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。付属品は、図のように接続してください。

テレビ（市販品）との接続

接続するテレビ（4：3／16：9）に応じて、初期設定の **"TV アスペクト "** を設定してください。 →54
接続するテレビに S ビデオ端子がある場合は、本機の **映像出力 S1/S2 VIDEO** 端子に、S ビデオコードを使い接続します。お手持ちの機器に合わせて、S ビデオ信号を切り換えてください。 →60

ビデオ接続は、お手持ちのテレビに合わせて接続方法をお選びください。（S ビデオ接続したときは、通常のビデオ接続は不要です。）

本機のビデオ出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキを経由して接続するとコピー防止機能の働きにより、再生のときに画像が乱れることがあります。

ヘッドホンで聴く

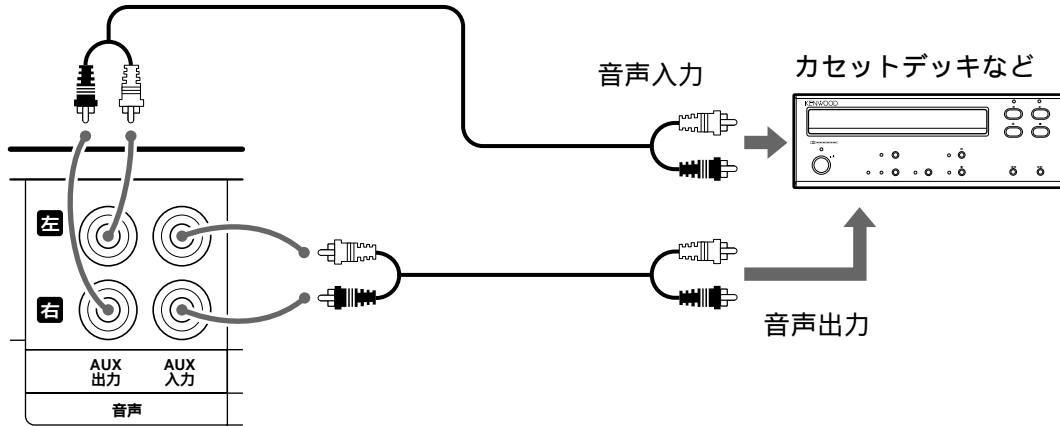
❶ ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

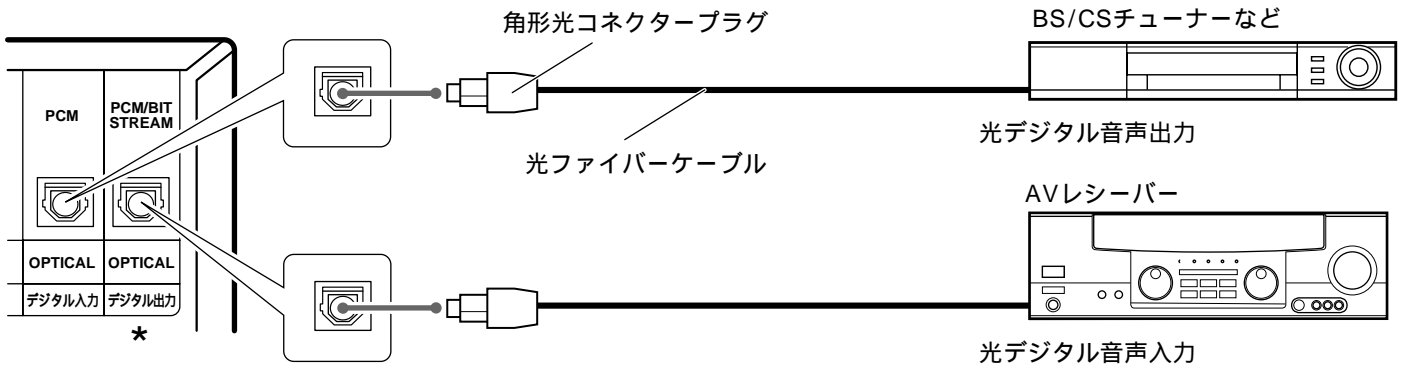
❷ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみで音量を調節する

DTS でエンコードされたソフトウエアを再生するときにはヘッドホン出力から雑音がでることがあります。ヘッドホンをご使用して、DTS デジタルサラウンド再生をお楽しみになるにはDVDプレーヤーのデジタル出力に外部の 5.1 チャンネル DTS デジタルサラウンドデコーダーシステムを接続しアンプまたはレシーバー側のヘッドホン端子をご使用ください。

外部ソース（音源）機器との接続

アナログ接続の場合：

本機背面の**音声 AUX 入力／出力** 端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。

デジタル接続の場合：

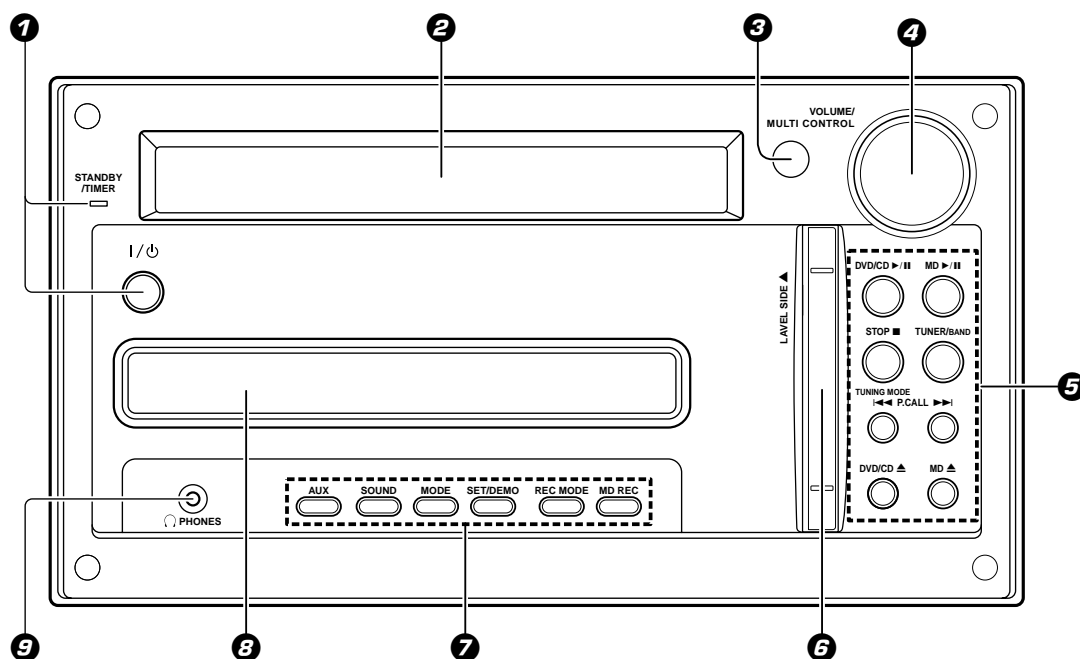
本機背面の**デジタル入力／デジタル出力 OPTICAL** 端子を使ってBS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。
デジタル音声出力端子に接続する機器により、"**デジタル出力**" の設定が異なります。 →57

* DVD、VCD、CD のみデジタル出力します。

DTS に関する注意事項

DTS でエンコードされたソフトウエアを再生すると、アナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。DVDプレーヤーのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに接続されている場合にはご注意ください。DTS デジタルサラウンド再生をお楽しみになるには、DVD プレーヤーのデジタル出力に外部の 5.1 チャンネル DTS デジタルサラウンドデコーダーシステムを接続してください。

1. 本機は、マルチチャンネルサラウンドの音声をダウンミックスして出力します。ただし、再生するディスクにより、 **音声 AUX 出力** 端子、**デジタル出力 OPTICAL** 端子または **PHONES** 端子の各端子から、ダウンミックスされた 2ch 信号ではなく、フロント（L/R）チャンネルのみを出力するときがあります。
2. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
3. 角形光コネクタープラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

各部のなまえと働き

本体部

❶ I / ⏻ キー

電源のオン／オフ(スタンバイ)を切り換えます。 →26 →95 →98

STANDBY/TIMERインジケーター

電源オンのとき：消灯

電源オフのとき(スタンバイ状態)：赤色の点灯 →18

タイマースタンバイ状態：オレンジ色の点灯 →95 →98

❷ **表示部**

❸ **リモコン受光部**

❹ **VOLUME/ MULTI CONTROL つまみ**

通常は、音量の調節に使います。また、各種設定の選択、タイマー予約、時刻合わせにも使います。 →18 →22 →26

❺ **DVD/CD ►/II (再生/一時停止)キー**

電源オンのとき：

入力が "**DVD/CD**" に切り換わります。 →28

電源オフのとき：

システム電源をオンにして、DVD (VCD、CD、MP3) を再生します。 →26

入力切換が "DVD/CD" のとき：

再生/一時停止に使います。 →28

MD ►/II (再生/一時停止)キー

電源オンのとき：

入力がMDに切り換わります。 →36

電源オフのとき：

システム電源をオンにして、MDを再生します。 →26

入力切換が "MD" のとき：

再生/一時停止に使います。 →37

TUNER/BANDキー

電源オンのとき：

入力がチューナーに切り換わります。 →40

電源オフのとき：

システム電源をオンにして、放送を受信します。 →26

放送受信中のとき：

放送バンドを切り換えます。 →40

STOP■/TUNING MODE キー

電源オフのとき：

5秒間の時計表示をします。 →22

DVD(VCD、CD、MP3)、MD再生中のとき：

再生を停止します。

MD録音中のとき：

録音を停止します。

放送受信中のとき：

選局方法を選ぶときに使います。

|◄◄ P.CALL ►►| キー

DVD(VCD、CD、MP3)、MD再生中のとき：

スキップに使います。 →30 →37

放送受信中のとき：

プリセットした放送局の選択に使います。 →40

DVD/CD ▲ キー

DVD(VCD、CD、MP3)を取り出すときに使います。

MD ▲ キー

MDを取り出すときに使います。

❻ MD挿入口

❼ AUX（外部入力）キー

音声 AUX入力 端子 に接続した入力ソースを再生，録音するときに使います。 →44 →93

デジタル入力 OPTICAL 端子に接続した入力ソースを再生，録音するときに使います。 →42 →93

SOUND キー

音質を調整するときに使います。 →27

MODE キー

VOLUME/MULTI CONTROL つまみの機能を切り換えます。 →18

時刻合わせをするときに使います。 →22

SET/DEMO キー

VOLUME/MULTI CONTROL つまみで選択した項目の設定や確定などに使います。 →22 →47

デモンストレーションのオン/オフに使います。 →3

放送受信中のとき：

オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →41

REC MODE キー

MDの録音モードを切り換えるときに使います。 →47

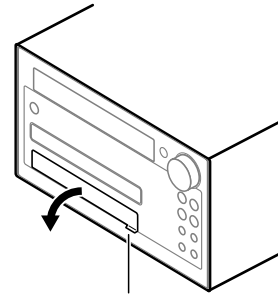
MD RECキー

MDに録音するときに使います。 →45

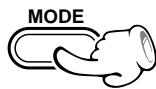
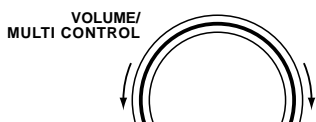
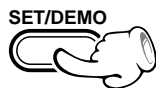
❽ ディスクトレイ

❾ PHONES 端子

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。 →15

- ❼ と ❾ は扉を開けてお使いください。

この部分を下にさげて扉をあける。

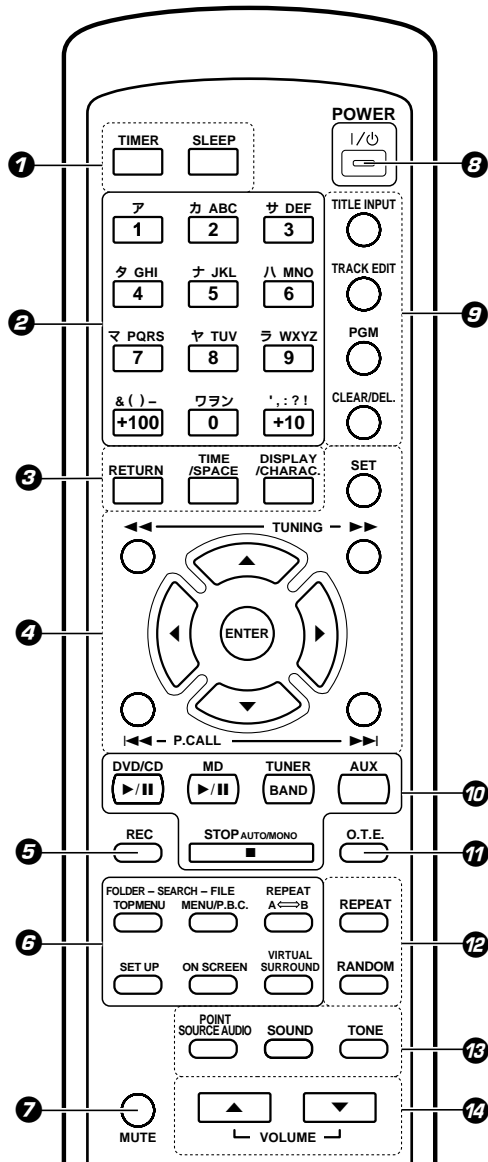
メニューモードの操作

❶ MODE キーを押す

❷ 設定したい項目を選ぶ

❸ SET/ DEMO キーを押す

回すと表示が切り換わります。

- **"O.T.E. MODE"** →71 →73 →75
- **"TRACK MARK"** →48
  （"**REC INPUT**"の設定が、"**ANALOG**" のときのみ）
- **"REC INPUT"** →46
  （入力切換が DVD/CD のときのみ）
- **"REC LEVEL"** →46
- **"TIMER SET"** →95 →96
- **"A.P.S."** →21
- **"SW LEVEL"** →27
- **"INPUT LEVEL"** →93
  （入力切換が外部入力のときのみ）
- **"BALANCE"** →27
- **"TIME ADJUST"** →22
- **"AUTO PRESET "** →41
  （入力切換がチューナーのときのみ）
- **"DIMMER"** →21

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

型名：RC-M0514J（赤外線方式）

❶ TIMERキー

各種タイマーの実行、解除するときに使います。 →98

SLEEPキー

SLEEP(おやすみ)タイマーを設定するときに使います。
→94

❷ 数字、文字入力キー

入力切換が "DVD/CD"、"MD"のとき：

数字キーとして使います。 →31 →37

放送受信中のとき：

放送局を呼び出すときまたはプリセットするときに使います。 →40 →43

MDタイトル入力のとき：

文字や記号の選択に使います。 →87

❸ RETURN キー

設定画面などで1つ前の画面に戻るときに使います。
→51 →54

TIME/SPACEキー

入力切換が "DVD/CD"、"MD"のとき：

DVD（VCD、CD）やMDなどの時間表示を切り換えます。
→34 →38

MDのタイトル入力のとき、スペースを入力します。
→87

DISPLAY/CHARAC.キー

入力切換が "DVD/CD"、"MD"のとき：

表示部の表示モードを切り換えます。 →34 →38
MDのタイトル入力のとき、文字の種類を切り換えます。
→87

放送受信中のとき：

表示部の表示モードを切り換えます。 →43

❹ SET キー

入力切換が "DVD/CD"、"MD"のとき：

PGMの設定や確定などに使います。 →64 →78

放送受信中のとき：

オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。

◄◄ TUNING ►► キー

DVD（VCD、CD、MP3）、MD再生中のとき：

早送り、早戻しに使います。 →30 →37

放送受信中のとき：

放送局の選択に使います。 →40

カーソルキー（◄ ► ▲ ▼）

初期設定やメニュー画面での選択に使います。

ENTERキー

入力切換が "MD"のとき：

MD編集や入力したタイトルの確定などに使います。
→29 →50 →79

放送受信中のとき：

マニュアルプリセットの確定に使います。 →43

|◄◄ P.CALL ►►|キー

DVD（VCD、CD、MP3）、MD再生中のとき：

スキップに使います。 →30 →37

放送受信中のとき：

プリセットした放送局の選択に使います。 →40

❺ REC キー

❻ TOP MENU/FOLDER SEARCH キー

DVDビデオのトップメニューを表示させるときに使います。 →29 →50
MP3ディスクのフォルダを選択して再生するときに使います。 →53

MENU/P.B.C./FILE SEARCH キー

DVD ビデオのメニューを表示させるときに使います。 →29 →50
P.B.C. 付きの VCD の P.B.C. のオン／オフに使います。 →51
MP3 ディスクの MP ファイルを選択して再生するときに使います。 →53

REPEAT A B キー
ディスクの指定した区間を繰り返し再生するときに使います。 →67

SET UP キー
DVDプレーヤーの初期設定を変更するときに使います。 →54 →57 →60

ON SCREEN キー →32
接続したテレビにOSDを表示するときに使います。

VIRTUAL SURROUND キー →31
バーチャルサラウンドのオン／オフに使います。

❼ **MUTEキー**
一時的に音を消すときに使います。 →27

❽ **POWER (I/⏻) キー**

❾ **TITLE INPUTキー**
MDにタイトル入力をするときに使います。 →86

TRACK EDITキー
MDの曲を編集するとき、曲の入れ替え、消去などに使います。 →78

PGM キー
曲順をプログラムするときに使います。 →64

CLEAR/DEL. キー
プログラムや入力文字の取り消しに使います。
→65 →87 →88

❿ **DVD/CD ▶/❚❚（再生/一時停止）キー** →26 →28
MD ▶/❚❚（再生/一時停止）キー →36
TUNER/BANDキー →40
AUX（外部入力）キー →44 →93
STOP■/AUTO/MONO キー

⓫ **O.T.E. キー** →71 →73 →75

⓬ **REPEATキー**
DVD(VCD、CD、MP3)、MDをくり返し再生するときに使います。 →66

RANDOMキー
CD(VCD)、MDの曲順を順不同に再生します。 →68

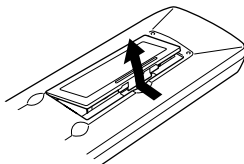
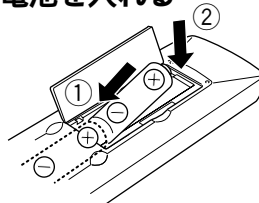
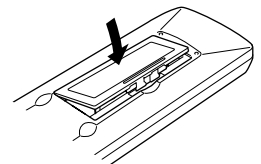
⓭ **POINT SOURCE AUDIO キー**
ポイントソースオーディオ機能(POINT SOURCE AUDIO)のオン、オフの切り換えに使います。 →27

SOUND キー
TONE キー
低音、高音の調整に使います。 →27

⓮ **VOLUME キー**
音量、音質の調整に使います。 →26 →27

準備編

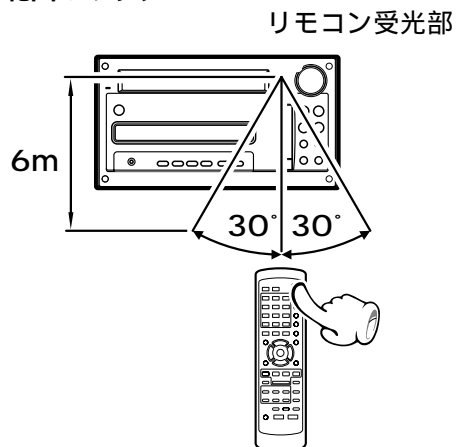
電池の入れかた

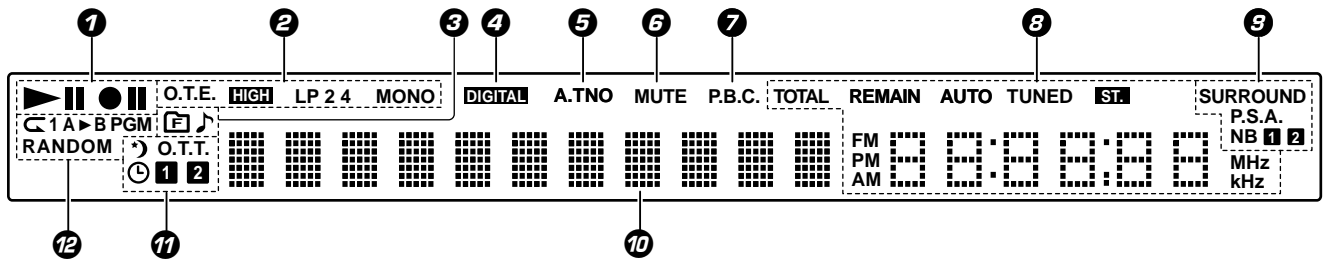
❶ **カバーを開く**

❷ **電池を入れる**

❸ **カバーを閉める**

● 単3乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER (I/⏻) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

❶ 再生(►)／一時停止表示(❚❚)、
　MD録音(●)／一時停止表示(❚❚)

❷ REC MODE表示
　(O.T.E.、HIGH、LP2、LP4、MONO)

❸ MP3 表示
　[F] .... フォルダ
　♪ .... ファイル

❹ DIGITAL 表示

❺ A. TNO 表示

❻ MUTE 表示

❼ P.B.C. 表示

❽ 再生／時刻／受信関連表示
　(再生時間、時刻、周波数表示など)

❾ 音質関連表示
　(SURROUND、P.S.A.、NB1、NB2)

❿ 文字情報表示部

⓫ タイマー関連表示

⓬ 特殊再生関連表示

ディスプレイの明るさを切り換える

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"DIMMER" を選び、SET/DEMO キーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"LOW" または "HIGH" を選び、SET/DEMOキーを押す

LOW

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save=A.P.S.)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。次の操作で、使う（ON）/ 使わない（OFF）を選びます。

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"A. P. S." を選び、SET/DEMO キーを押す

A.P.S.

❸ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"ON" または "OFF" を選び、SET/DEMO キーを押す

A.P.S. ▶OFF

- ソース（音源）が TUNER または AUX の場合、音量が "0" のときに限りオートパワーセーブが働きます。

準備編

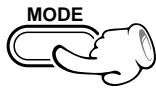
時刻合わせ

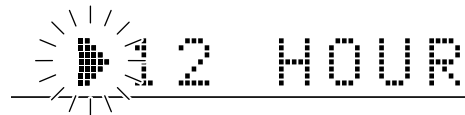
本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**STANDBY/TIMER** 表示がオレンジ色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

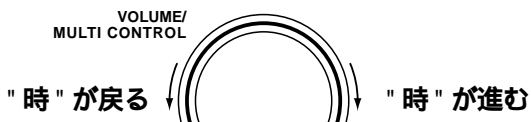
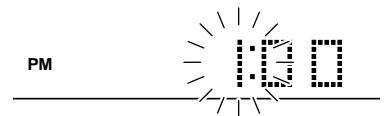
❶ **MODE キーを押す**

❷ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"TIME ADJUST" を選び、SET/ DEMO キーを押す**

❸ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"12 HOUR" または "24 HOUR" を選び、SET/ DEMO キーを押す**

点滅　表示モードを選ぶ

- 時刻は 12 時間または 24 時間表示で表示されます。

2 時間を合わせる

❶ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、" 時 " を合わせる**

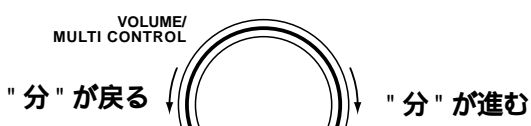
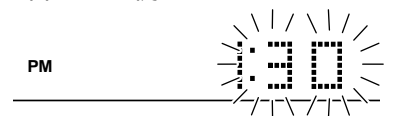
❷ **確定する**

午後 1 時 30 分に合わせる例

点滅

- 時間表示が点滅を始めます。
- **SET/DEMO** キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

❶ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、" 分 " を合わせる**

❷ **確定する**

午後 1 時 30 分に合わせる例

点滅

- 間違えて押したときは、**MODE** キーを押して最初からやり直してください。
- 時報と同時に **SET/DEMO** キーを押すと正確に時刻を設定することができます。
- 電源がスタンバイ状態のき、**STOP■/TUNING MODE** キーを押すと 5 秒間時刻を表示します。

準備編

ビデオフォーマットについて

DVD VCD

テレビの画面表示方法およびディスクの信号方式には大きく分けて２つのテレビ方式（NTSC/PAL）があり、国や地域によって異なります。
本機は、NTSC 方式のディスクは NTSC 方式で再生します。PAL 方式のディスクは再生できません。

主な国のテレビ方式

テレビ方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリなど
PAL	中国、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、クウェート、シンガポールなど

ビデオフォーマットの確認

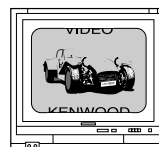
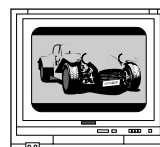
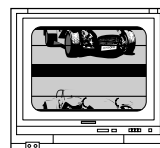
本機で再生できる VCD、DVD ディスクのビデオフォーマットについて確認してください。

❶ お使いになるテレビと再生するディスクのビデオフォーマットが合っていることを確認します。
- 詳しくはお手持ちのテレビやディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

❷ NTSC／PAL切り換え式のテレビをご使用の場合は、ディスクの方式に合わせてテレビの方式を設定します。

テレビの方式	再生できるディスクの方式
NTSC方式専用	NTSC
PAL 方式専用	PAL
NTSC/PAL 切り換え式	NTSC/PAL

- テレビとディスクのビデオフォーマットが合っていないと正しい映像が再生できません。

ビデオフォーマットが合っていないとき：
ディスクを再生してみてください。もし、ディスクとテレビのビデオフォーマットが合っていないと、白黒になったり、テレビ画面が図のようになります。

上下が切れてしまう

上下が黒くなる

同期があわないため画面が乱れる

使用できるディスクについて

ディスクや本機の状態による操作制限 DVD VCD

DVD や VCD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。
本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

再生できるディスクの方式と種類

再生できるディスク	DVDビデオ	VCD	CD、CD-R/RW
ロゴマーク	DVD VIDEO / DVD VIDEO / DVD AUDIO/VIDEO	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT / COMPACT disc DIGITAL AUDIO

再生できないディスク

フォト CD は絶対に再生しないでください。

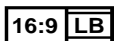
それ以外の再生できないディスク：
- SACD、DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-R/RAM、DVD-RW、セッションクローズまたはファイナライズ処理をしていない CD-R/RW、CD-ROM、DTS-CD、SVCD、VSD、CDV*、CD-G*、CD-EG*、CD-EXTRA(エクストラ)* など
  * 音声部分のみ再生可能
- リージョンコード（地域番号）が本機と合わない、または含まれていない DVD ビデオ。詳しくは、"**本機のリージョンコードについて**" を参照してください。 ➞25
- ディスクとお使いのテレビのビデオフォーマットが合っていない場合は、そのディスクは正しく再生できません。詳しくは、"**ビデオフォーマットについて**" を参照してください。 ➞23
- 使用する CD-R/RW の特性、記録状態等により、本機では再生できない場合があります。

DVD ディスクに表示されている各種のアイコンについて DVD

ALL　再生可能なリージョンコード（地域番号）を表します。

8　オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大8ヵ国語）

32　サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大 32ヵ国語）

9　アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大 9 アングル）

16:9 LB　選ぶことのできるアスペクト比を示します。LBはレターボックス、PSはパン＆スキャンを表します。（このアイコンを例にすると、16：9 の映像からレターボックスに変換できることを表しています）

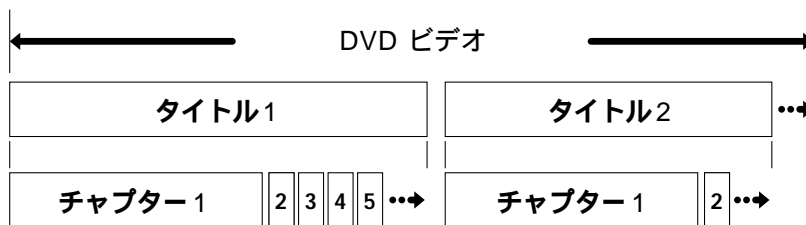
本機のリージョンコードについて DVD

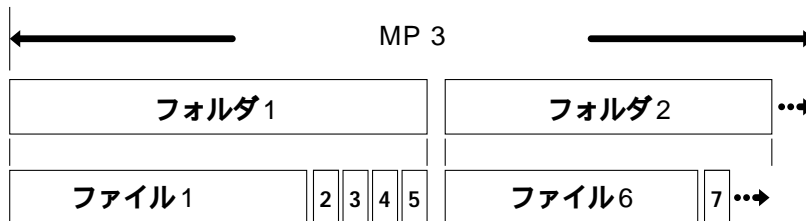
本機には、国ごとに割り当てられたリージョンコード（地域番号）が定められており、DVD ビデオに表示されている地域番号と一致あるいは、含まれていないと再生できません。

- 本機のリージョンコードは 2 です。
- ディスクのジャケットに表示されているリージョンコードが 2、ALL または 1 2 6 のように "2" を含むものの場合に本機で再生できます。
- リージョンコードが表示されていないディスクは本機で再生できない場合があります。

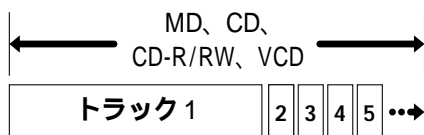
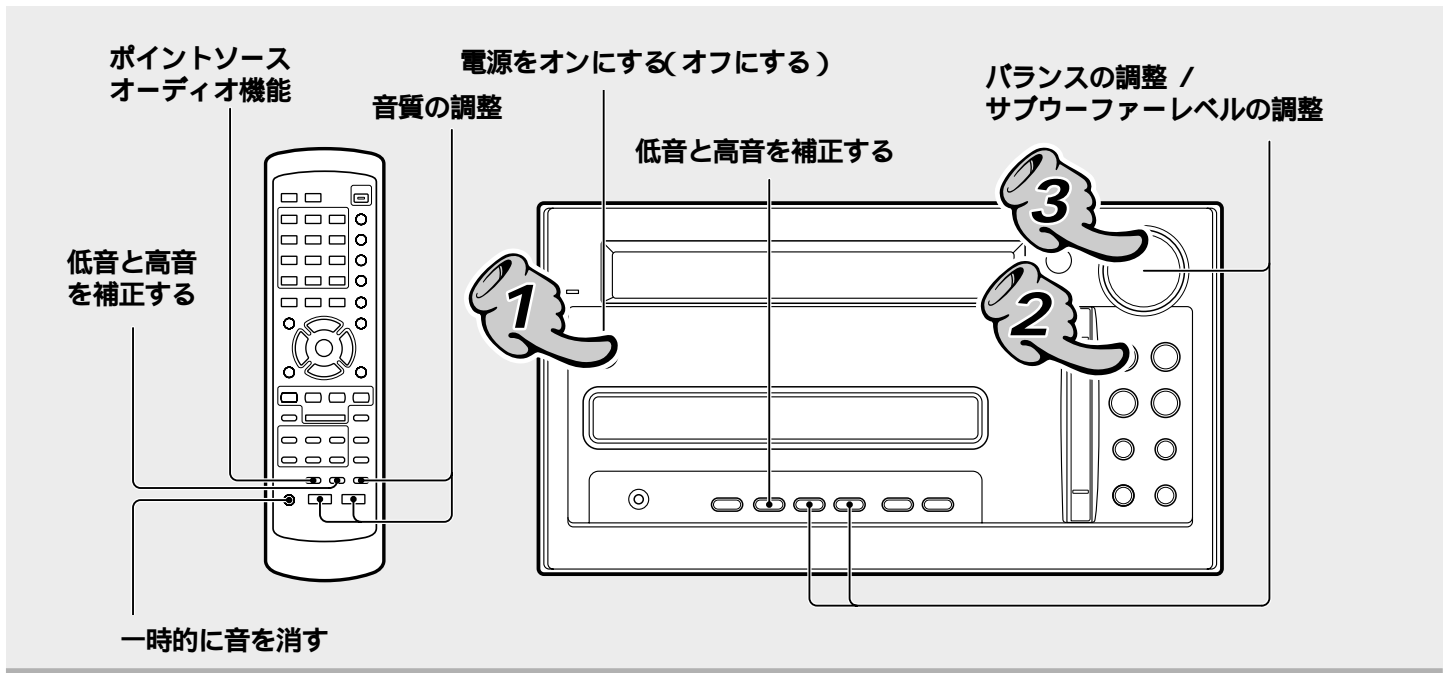
ディスクを購入される場合は、本機で再生できるディスクかよく確かめてください。

ディスクの構成 DVD VCD CD MP3 MD

DVD ビデオのディスクの構成 :

タイトルは映像や曲の一番大きい単位をいいます。１つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。

MP 3 のディスクの構成 :

フォルダはディスクに記録されている一番大きい単位をいいます。
１つのフォルダが１つ以上のファイルで構成されている場合もありますが、ファイルがフォルダに入っておらず、直接ディスクに記録されているものもあります。
また、フォルダの中にフォルダがあるといった階層構造になっているディスクもあります。

MD、CD、CD-R/RW、VCD のディスクの構成 :

基本的な使いかた

1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに I/⏻ キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源がオフ(スタンバイ)のとき **DVD/CD ▶/II**、**MD ▶/II**、**TUNER**(チューナー)/**BAND**(バンド) または、**AUX** キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)

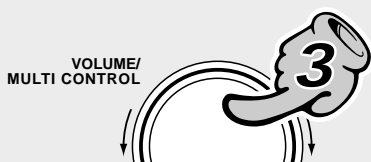
2. 聴きたいものを選ぶ

例:DVDを選ぶ時

DVD/CD(DVD、MP3、VCD、CD) → 28
MD → 36
TUNER(チューナー)**(ラジオ放送)** → 40
AUX(アナログ外部入力) (入力レベルを調整する → 93)
AUX キーを "**AUX**" と表示されるまで繰り返し押す
DIGITAL(デジタル) **AUX(デジタル外部入力)** → 93
AUX キーを "**DIGITAL**(デジタル) **AUX**" と表示されるまで繰り返し押す

DVD T01 C01 0:01

DVDを選んだとき

- **DVD/CD ▶/II**、**MD ▶/II** キーを押したとき、すでにディスクが入っている場合は再生が始まります。

3. 音量を調節する

- リモコンの **VOLUME**(ボリューム) キーでも同様の操作ができます。

音量の表示

VOLUME 35

一時的に音を消す

リモコンのみ

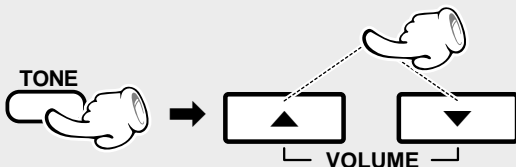
点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

音質の調整

リモコンのみ

低音(BASS)、高音(TREBLE)の調整ができます。調整をした場合はN.B.(ナチュラルバス)効果は解除されます。

❶ TONE キーを押して "BASS" の設定にする。VOLUME キーでお好みのレベルを調整する

❷ "BASS" 表示中に TONE キーを押して "TREBLE" の設定にする。VOLUME キーでレベルを調整する

TREBLE +4

❸ TONE キーを押す

- "**BASS**"、"**TREBLE**" ともに、"**– 8**" ～ "**+ 8**" の範囲で調整できます

低音と高音を補正する*(N.B. : Natural Bass)*

押すたびに切り換わります。

① **"NB 1"**(低音のみ強調します)
② **"NB 2"**(音量に応じて低音と高音を強調します)
③ **"NB OFF"**(音質調整された音を聴くことができます。)

ポイントソースオーディオ機能*(POINT SOUCE AUDIO)*

部屋のどこにいても、快適なステレオサウンドが楽しめます。

押すたびに切り換わります。

① **オン : "P.S.A." 点灯**
② **オフ : "P.S.A." 消灯**

サブウーファーレベルの調整

❶ MODEキーを押す。

❷ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して "SW LEVEL"を選びSET/ DEMOキーを押す。

❸ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、サブウーファーレベルを調整する。

- "**– 6**" ～ "**+ 6**" の範囲で調整ができます。

❹ SET/ DEMOキーを押す。

バランスの調整

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

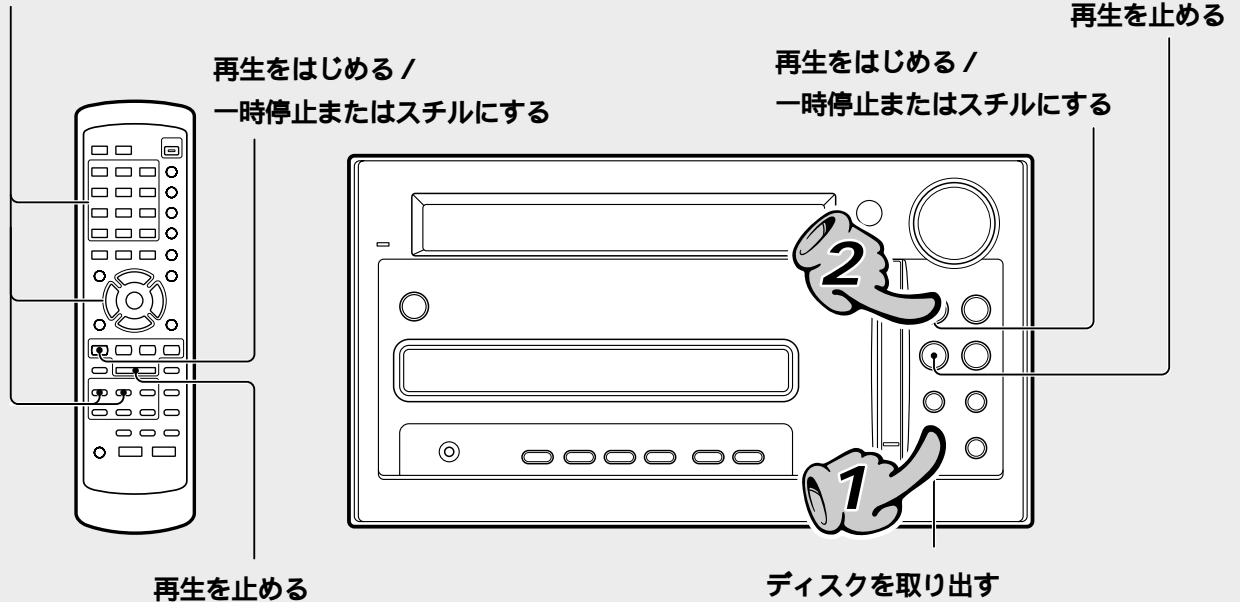
❶ MODEキーを押す

❷ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"BALANCE"を選びSET/ DEMOキーを押す

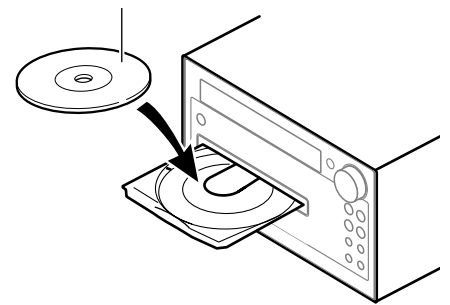
❸ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、左右のバランスを調整する

❹ SET/ DEMOキーを押す

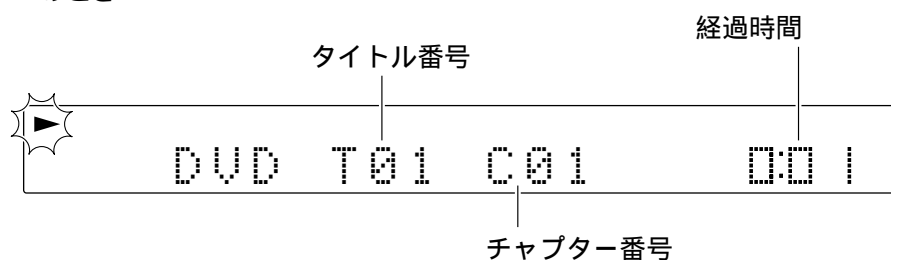
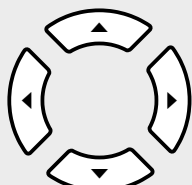
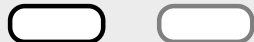
再生する

CDやVCD、DVD などを、ディスクの最初から再生するときの使い方です。
P.B.C.(Play Back Control)付きVCDを再生するときは "P.B.C.付きのVCDのメニュー再生をする" を参照してください。 →51
MP3 ファイルが収録されているディスクについては "本機で再生できるMP3ファイルについて" を参照してください。 →52

1. ディスクを入れる

❶ DVD/CD ▲ キーを押す
❷ ディスクを入れる
❸ DVD/CD ▲ キーを押す

- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。

ディスクによっては、再生がはじまります。
テレビにメニュー画面が表示されたときは、手順3.-❷、❸で見たい項目を選び再生をしてください。

2. 再生をはじめる

DVDのとき :

3. 見たい項目をメニュー画面で選ぶ

トップメニューあるいはメニューの記録された DVD ビデオを再生すると、トップメニュー画面またはメニュー画面を表示します。
対話方式を使って再生したいところを簡単に選ぶことができます。

以下の操作は基本的な操作です、再生ソフトにより操作が異なる場合がありますのでソフトに付属の説明書をご覧ください

❶ **TOP MENU/FOLDER SEARCH キーを押す**

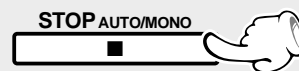
❷ **カーソルキー(◄ ► ▲ ▼)または、数字キーを押して、再生したい場面を選ぶ**

❸ **ENTER キーを押して再生をはじめる**

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、**TOP MENU/FOLDER SEARCH** キーをもう一度押すと、最初にキーを押した場面まで戻り、そこから再生します。
- **MENU/P.B.C./FILE SEARCH** キーを押すとメニュー画面を表示します。操作はトップメニュー画面での操作と同じです。

再生をはじめる／一時停止またはスチルにする

- テレビに "**Pause**"または "**Still**"と表示します。
- "**IPB 表示**" がオンのときは、DVDビデオをスチルするたびにテレビに "**Still(I)**" 、"**Still(P)**" 、 **Still(B)**" のいずれか１つを表示します。 →54
- **DVD/CD ►/II** を押すと通常の再生にもどります。

再生を止める

- 再生中に**STOP ■ /AUTO/MONO** キーを押すとリジューム機能が働きます。
- リジューム機能が働くと停止場所を記憶して停止します。もう一度 **DVD/CD ►/II** キーを押すと、停止した場所から再生がはじまります。(CD再生中、ランダム再生中は、この機能は働きません。)

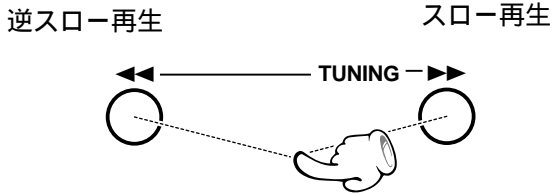
ディスクを取り出す

本体のみ

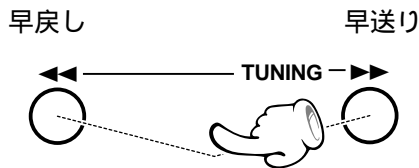
⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

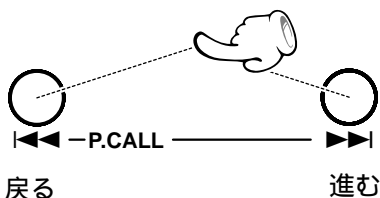
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

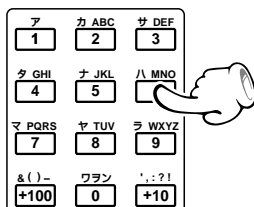
スロー再生・逆スロー再生をする DVD VCD

スチル中に ◀◀ キーまたは ▶▶ キーを押します。全部で５段階の速度が選べます。

- OSDを表示している場合は、**ON SCREEN**（オン スクリーン）キーを押すと OSD 表示がオフになり速度表示に切り換わります。
- スロー再生・逆スロー再生のときは音声は出ません。
- VCD は逆スロー再生はできません。
- **DVD/CD ▶/❚❚** キーを押すと通常の再生にもどります。

早送り・早戻しする DVD VCD CD MP3

再生中に１回押すと低速の早送り・早戻しを続けます。

- 全部で５段階の速度が選べます。（MP3ファイルの速度の切換は1段階です。）
- OSDを表示している場合は、**ON SCREEN**（オン スクリーン）キーを押すと OSD 表示がオフになり速度表示に切り換わります。
- 早送り・早戻しをすると、画面が乱れることがあります。
- **DVD/CD ▶/❚❚** キーを押すと通常の再生にもどります。

トラック、チャプターまたはファイルの飛び越しをする DVD VCD CD MP3

- 押した方向に飛び越して、選んだトラック、チャプターまたはファイルの最初から再生します。（DVDビデオの場合は、再生中のときのみ操作できます）
- 再生中に |◀◀ キーを1回押すと、そのトラック、チャプターまたはファイルの最初に戻ります。
- VCD で P.B.C. がオンのときは |◀◀（**PREVIOUS**（プレビアス））キーまたは ▶▶|（**NEXT**（ネクスト））キーとして機能します。 → 51

タイトル、チャプター、トラックやファイルを選び再生する DVD VCD CD MP3

数字キーを押す順序は
23曲目なら ………… +10、+10、3
40曲目なら ………… +10、+10、+10、+10、0
311曲目なら（MP3のみ）
……… +100、+100、+100、+10、1

- DVD の場合は、再生中に番号入力したときは、タイトル内の指定したチャプターから再生をはじめます。また、停止中のときに番号入力したときは、指定したタイトルの最小チャプターから再生をはじめます。
- MP3ディスクの場合は、入力したファイルのはじめから再生をはじめます。
- CD や VCD（P.B.C. オフ時）の場合は、入力したトラックのはじめから再生をはじめます。

バーチャルサラウンド機能を楽しむ DVD

お使いのスピーカーが２つでも、ドルビーデジタルサラウンド（2ch 以上）で収録された DVD を再生中に、迫力あるサラウンドをたのしむことができます。

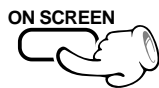
押すたびに切り換わります。
① **"VIRTUAL SURR. OFF"**（解除）
② **"VIRTUAL SURR. 1"**
③ **"VIRTUAL SURR. 2"**

OSD の基本操作 DVD VCD CD MP3

テレビに表示される OSD のアイコンを、リモコンのカーソルキー(◄ ► ▲ ▼)で選ぶことで各種の操作が簡単に出来ます。

OSD の操作は、DVDビデオ、VCD のメニュー再生のときにはできません。また、再生するディスクによっては操作できないときがあります。

入力切換を"DVD/CD"にする →28

1 ON SCREENキーを押す

OSD 画面が表示されます

ワイドテレビ等で、オンスクリーンメッセージや OSD の表示がテレビ画面からはみだしたときは、"OSD 位置" の設定で "シネマ"を選びます。 →54

"MAIN" OSD：

- 停止中は、"**MAIN**" OSDしか表示されません。（このときは、図の上下方向の矢印は表示しません）
- "**SOUND**" OSD、 "**VISUAL**" OSD は再生中にしか表示されません。
- ディスクを再生しているときは、カーソルキー(▲ ▼)を押して OSD を回転させ、他の OSD に切り換えることができます。

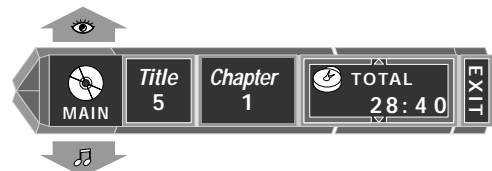
2 変更する項目を選ぶ

カーソルキー(◄ ►)を押して、アイコンを選び、ENTER キー を押す

- カーソルキー(◄ ►)を押すたびにカーソルが移動します。（このとき、操作できないアイコンにカーソルを移動させることはできません）
- OSD には、様々な機能をもつアイコンが並んでいます。本機の状態や再生するディスクにより、表示されるアイコンは異なります。
- カーソルの位置が左右の端にあるときに、外側の方向にカーソル位置を移動させると、反対側に移動します。
- OSD の表示をやめるときは、**EXIT** アイコンにカーソルを合わせて **ENTER** キーを押します。（**ON SCREEN** キーでも操作できます）

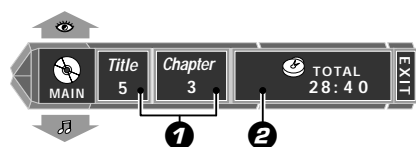
3 内容を変更する

カーソルキー(▲ ▼) を押して、内容を選び、ENTER キー を押す

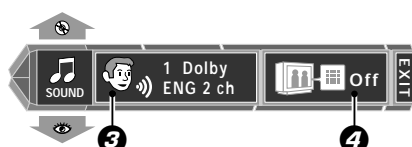
基本編

テレビ画面に表示されるアイコンについて DVD VCD MP3 CD

ディスクに関する情報(タイトル／チャプター／時間表示／音声／字幕／アングル等)や本機に関する情報を表示したり、その内容を変更することができます。テレビ画面に表示されるアイコンは次の通りです。

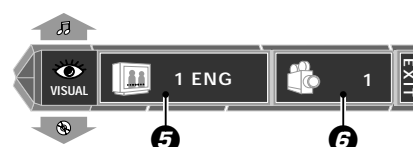
DVD ビデオのとき

"MAIN"(メイン) OSD：

❶ **タイトルアイコン**
DVD ビデオのタイトルナンバーを表示します。
チャプターアイコン
DVD ビデオのチャプターナンバーを表示します。

❷ **時間表示アイコン**
時間表示をします。タイムサーチをするときや、時間表示の変更をするときに選びます。 →34

"SOUND"(サウンド) OSD：

❸ **音声アイコン**
ストリーム番号、音声信号、音声言語、チャンネル数を表示します。音声言語を切り換えるときに選びます。

❹ **シネマボイスアイコン**
シネマボイスのオン／オフを表示します。オン／オフを切り換えるときに選びます。

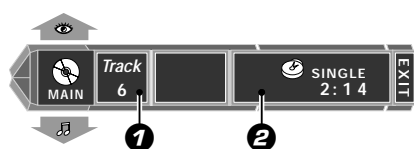
"VISUAL"(ビジュアル) OSD：

❺ **字幕アイコン**
字幕言語を表示します。字幕を切り換えるときに選びます。

❻ **アングルアイコン**
アングル番号を表示します。アングルを切り換えるときに選びます。

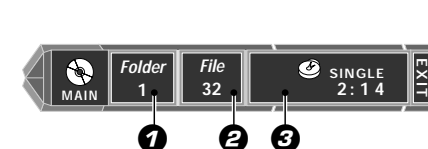
CD、VCD(P.B.C.オフ) のとき

"MAIN"(メイン) OSD：

❶ **トラックアイコン**
❷ **時間表示アイコン**

"SOUND"(サウンド) OSD：

❸ **音声アイコン**

MP3 のとき

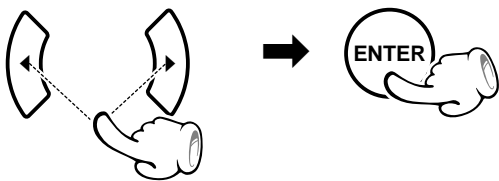
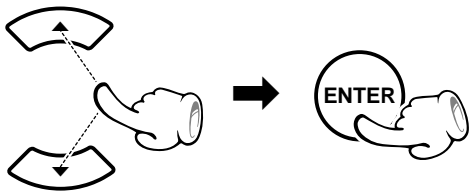
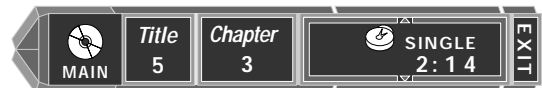
"MAIN"(メイン) OSD：

❶ **フォルダアイコン**
❷ **ファイルアイコン**
❸ **時間表示アイコン**

DVD/CDプレーヤーの時間表示について DVD VCD CD MP3

OSD やディスプレイの時間表示を切り換えることができます。また、再生をはじめる場所を時間を入力して指定するタイムサーチ機能もあります。
TIME/ SPACE キーで時間表示を切り換えることもできます。ただし、タイムサーチはできません。

リモコンのみ

❶ **再生中にON SCREEN キーを押す**

❷ **カーソルキー(◄ ►)で、時間表示アイコンを選び、ENTER キーを押す**

❸ **カーソルキー(▲ ▼)で、時間表示を選び、ENTER キーを押す**

タイムサーチをするときは、タイムサーチでの時間入力にカーソルを合わせ数字キーで再生する時間を入力し、ENTER キーを押す

① トラックやチャプターの経過時間
② トラックやチャプターの残り時間
③ ディスクまたはタイトルの経過時間
④ ディスクまたはタイトルの残り時間
⑤ "－－：－－：－－"：タイムサーチの時間入力ができます。(CD や VCD のときは "－－：－－" を表示します)

- MP3ファイルの場合は、① のみ表示します。
- プログラムモード、ランダムモードでは、①と②のみ表示します。
- 停止中、DVD のメニュー再生時や DVD ビデオで時間表示をしない物の場合はタイムサーチはできません。プログラムモード、ランダムモードでは、タイムサーチはできません。
- P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 ➞51

CD-TEXT機能について CD

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。
タイトルが、表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。

リモコンのみ

(2回押す)

(停止中に操作します。)
ディスクタイトルをスクロール表示

(再生中に操作します。)
トラックタイトルをスクロール表示

MDを聴く

MDレコーダーにあらかじめMDを入れておくと、MD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。MDの曲は、録音したときの録音モード（例：MDLP/ステレオ2倍長時間録音モード）に従って再生されます。

好きな曲から聴く

早送り・
早戻しする

再生をはじめる／一時停止する

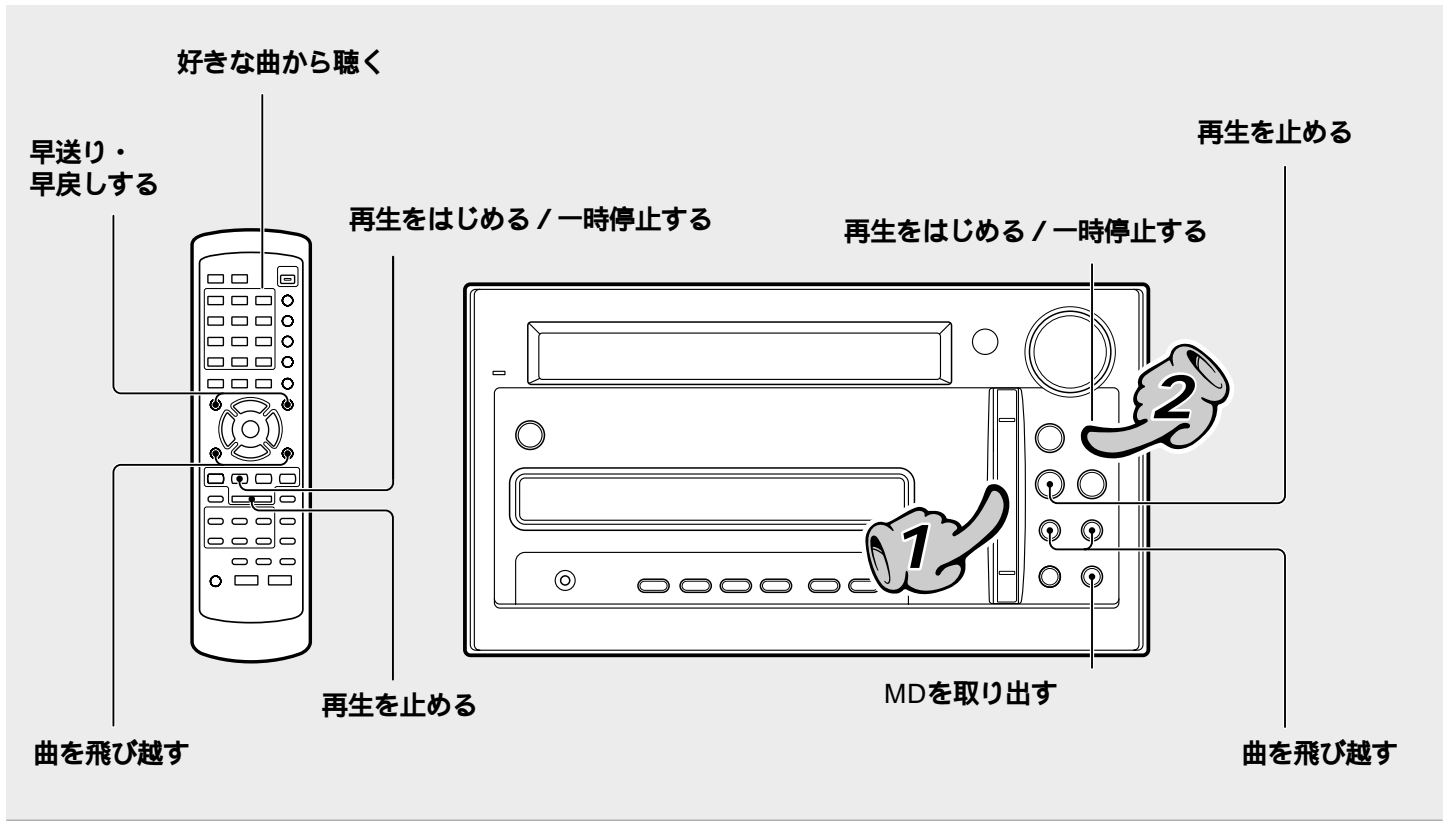
再生を止める

曲を飛び越す

再生を止める

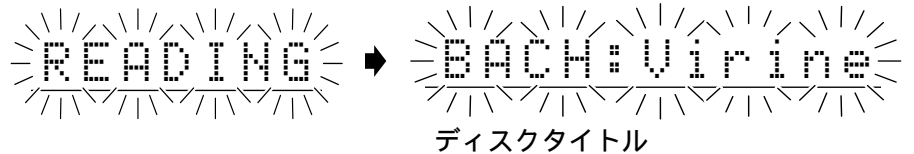
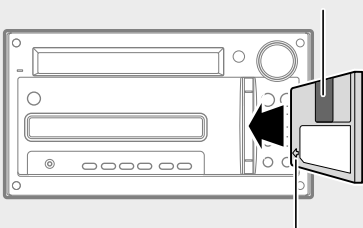
再生をはじめる／一時停止する

MDを取り出す

曲を飛び越す

1. MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

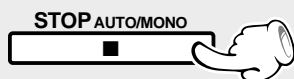
- MDにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

表示が変わります

スタンバイ状態のときは、MDの出し入れはできません。
スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

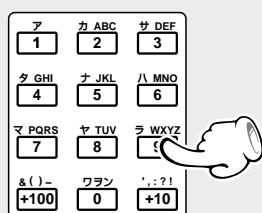
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

再生をはじめる／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

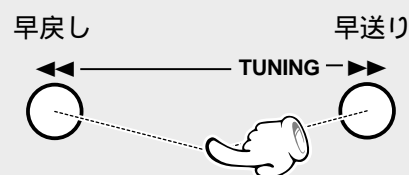
リモコンのみ

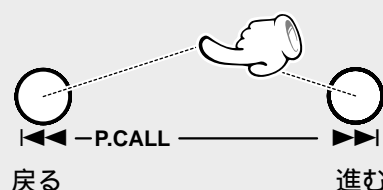
曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

23曲目なら .... +10、+10、3
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
213曲目なら .. +100、 +100、+10、 3

- "READING（リーディング）" の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

- 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に |◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲にスキップするときは素早く |◀◀ キーを押します。
- 停止中でも |◀◀、▶▶| キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

MDを取り出す

本体のみ

MDLPについて

MDLPはＭＤ規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーやMDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

MDレコーダーの時間表示について

TIME/SPACE キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

① 再生中の曲の経過時間
T001 1:30

② 再生中の曲の残り時間
T001 -12:30

③ ディスク全体の経過時間
("TOTAL" 点灯)
TOTAL
T001 28:50

④ ディスク全体の残り時間
("TOTAL" 点灯)
TOTAL
T001 -45:50

⑤ MD の録音可能残り時間を表示
("REMAIN" 点灯)
REMAIN
T001 28:10

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①、②または⑤のみ表示します。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間を表示します。
- 時間表示の合計が324分以上になると "– – : – –"と表示されます。

MDレコーダーのタイトル表示について

タイトルが、表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。

リモコンのみ

(2回押す)

(停止中、再生中に操作します。)

① タイトル表示
BACH:Virine

② トラック番号表示
MD T007

(MDに録音中に操作すると)

① 録音している入力ソースを表示
CD T01 0:01

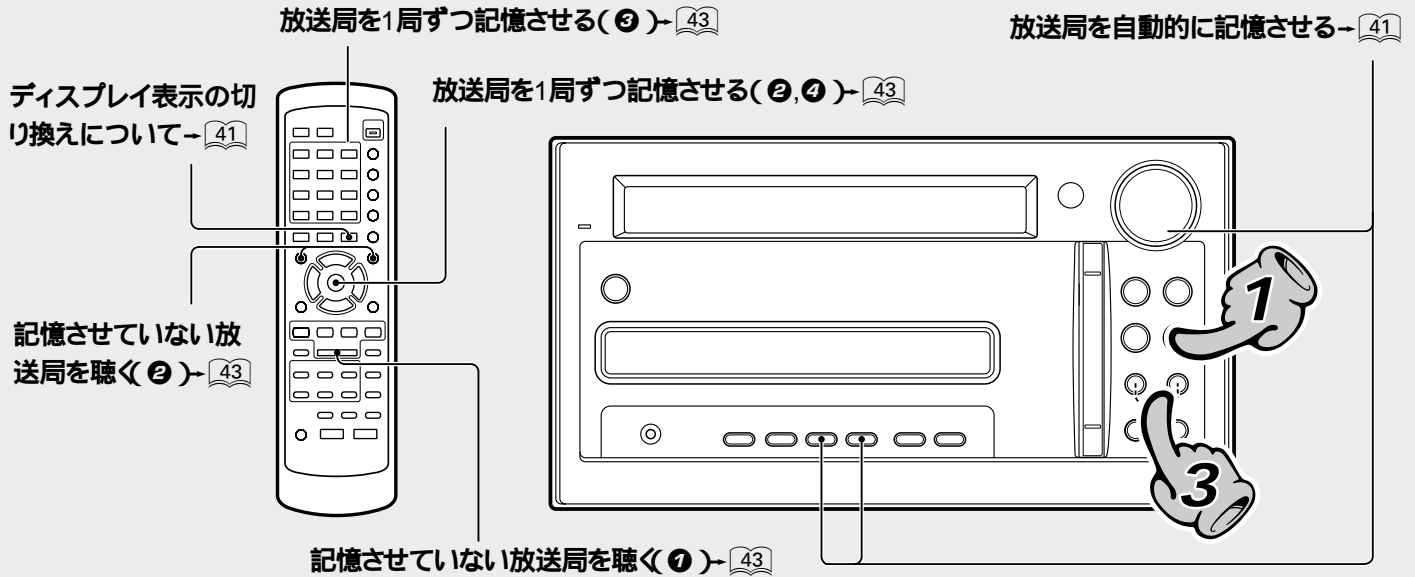
② MD の録音可能残り時間を表示
("REMAIN" 点灯)
REMAIN
MD REC T001 180:15

③ MD の録音可能残り時間とCDの再生時間を表示
<MD>180:15R 0:01

MDの録音モードの設定により、録音可能残り時間の表示は異なります。

- 曲名(トラックタイトル)ならびにMD名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE"が表示されます。
- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC" と表示されます。

基本編

ラジオ放送を聴く

1. 入力切換をチューナーにする

放送バンドは、TUNER（チューナー）/BAND（バンド） キーを押すたびに切り換わります。

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →41

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

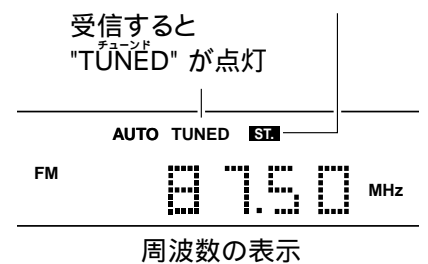
- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

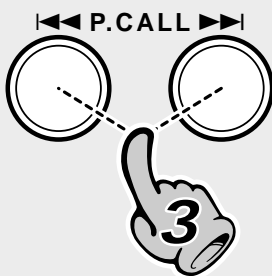
放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） →43

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）**" をお読みください。

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、◀◀ または、▶▶ を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶ を押すと：
1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....
◀◀ を押すと：
40 →39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 →40.....

- リモコンでは、◀◀、▶▶キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は：
12番目なら +10, 2　　20番目なら +10, +10, 0

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)(エリア別FM放送局名自動表示)

本体のみ

❶ TUNER/BAND キーを押して入力切換をチューナーにする

❷ MODE キーを押す

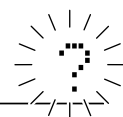
❸ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"AUTO PRESET"を選び、SET/DEMOキーを押す

❹ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、お住まいの都道府県名を選ぶ

❺ SET/DEMOキーを押す

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。 →42

AUTO PRESET

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ケンメイ ミセッテイ?**"と表示されます。

トウキョウ

"**トウキョウ**" を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**" に従ってオートプリセットされます。

- "AUTO PRESET" 表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および "TUNED" が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。 →42
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- すでにプリセットされている局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET/DEMO キーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。

ディスプレイ表示の切り換えについて

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。

リモコンのみ

DISPLAY/CHARAC.キーを押すたびに切り換わります

① 放送局名
② プリセット番号

基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

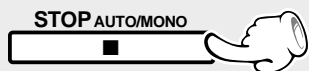
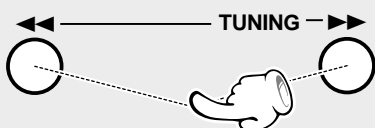
2001年 4月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G ’
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	新潟県民エフエム放送	FmPort.com
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
	岐阜エフエム放送	FMギフ
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
中国・四国地方	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
九州・沖縄地方	エフエム高知	FM KOCHI
	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき:オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき:マニュアル選局モード

リモコンのみ

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える。

● FM放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

押すたびに切り換わります。
① **オート選局 :** "AUTO" 点灯
② **マニュアル選局 :** "AUTO" 消灯

● 通常は AUTO(オート選局、ステレオ受信)を選んでください。

❷ 選局をする。

周波数が下がる　　周波数が上がる

オート選局のとき:
キーを押すごとに次々に受信します。

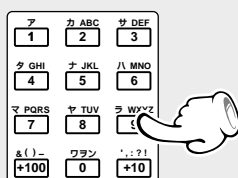
マニュアル選局のとき:
希望する放送局を受信するまで押す。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する。

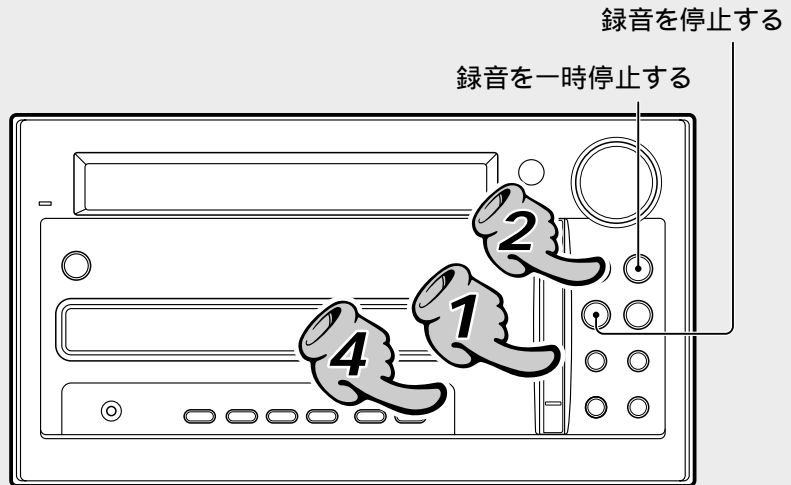
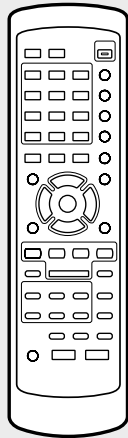
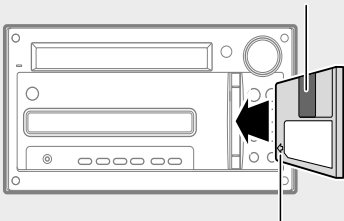
❷ 受信中にリモコンの ENTER キーを押す。

❸ リモコンの数字キーで1〜40 までのプリセット番号を任意に選ぶ。

数字キーを押す順序は
12番目なら .... +10、2
20番目なら .... +10、+10、0

❹ もう一度 ENTER キーを押す

● プリセットを続るときは、手順 ❶ 〜 ❹ を繰り返します。
● 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

基本編

MDに録音する

1. 録音の準備をする

❶ MDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →101
❷ MDを入れる

> **スタンバイ状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。**

MD以外を選ぶ

2. 録音するソース（音源）を選ぶ

DVD（MP3, VCD, CD）：**DVD/CD ▶/II** キーを押す
TUNER（チューナー）**（ラジオ放送）**：**TUNER**（チューナー）**/BAND**（バンド） キーを押す
AUX（外部アナログ機器）：**AUX** キーを "**AUX**" と表示されるまで繰り返し押す
DIGITAL（デジタル）**AUX（外部デジタル機器）**：**AUX** キーを "**DIGITAL**（デジタル）**AUX**" と表示されるまで繰り返し押す

例：CDを選ぶ時

選ばれた録音するソースが表示されます。

- **DVD/CD ▶/II** または、**MD ▶/II** を押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので **STOP**（ストップ）**■/TUNING**（チューニング）**MODE**（モード） キーを押して停止させてください。
- ソース（音源）の選択が "**CD**" または "**DIGITAL**（デジタル）**AUX**" 以外はデジタル録音できません。また、これらのソース（音源）でも SCMS によりデジタル録音できないときがあります。（DVDビデオ、VCD、MP3ファイルの録音はアナログ録音になります。） →101

> **CD-TEXT**（テキスト）**が記録されているCDの場合、TEXT**（テキスト）**データはコピーされません。**

3. ソース（音源）の準備をする

DVD（MP3, VCD, CD）：録音したい曲（チャプターまたはトラック）のはじめで再生一時停止にする
TUNER（ラジオ放送）：選局する
AUX（外部アナログ機器）：受信や再生などの準備をする
DIGITAL AUX（外部デジタル機器）：受信や再生などの準備をする

- 最大で通常の4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。（**REC MODE**） →47
- CDのときはデジタルまたはアナログ録音を選ぶことができます。必要に応じて選んでください。（**REC INPUT**） →46
- 外部入力ソースの録音は入力レベルを調節することができます。必要に応じて調節してください。（**REC LEVEL**）（**AUX INPUT**） →46 →93
- MDの録音はトラック番号の付けかたを選ぶことができます。必要に応じて選んでください。（**TRACK MARK**） →47

4. 録音を始める

❶ **MD REC キーを押す（録音一時停止状態になります）**
❷ **準備ができていれば、再度 MD REC キーを押す（録音がはじまります）**

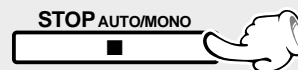
- ソースがDVDビデオ（MP3、VCD、CD）のとき、**DVD/CD ►/❚❚** キーを押すと同時に MDの録音が始まります。（シンクロ録音）

❸ **ソース（音源）の再生を始める**

- CD、MD録音の場合、使用するCD、MDによってはSCMSによりデジタル録音できない場合があります。そのときはアナログ録音（**ANALOG**）にしてください。 →46 →101

録音を一時停止する

- 再び録音をはじめるときは、もう一度押します。このときトラック番号は "**1**" 繰り上がります。
- **MD REC** キーを押しても録音が始められます。

録音を停止する

- CD 録音のときは、CD も停止します。（シンクロ機能）

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

CDの録音形式（デジタル／アナログ）を選ぶ（REC INPUT）

CDのデジタル録音とアナログ録音を必要に合わせて選ぶことができます。
（CD以外のディスクをMDに録音するときは、自動的に"ANALOG"に設定されます。）

❶ **DVD/CD ▶/❚❚ キーを押す**

❷ **MODE キーを押す**

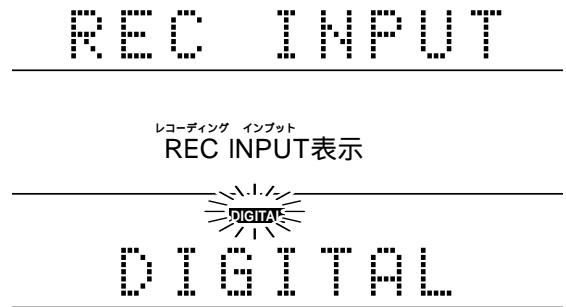
❸ **VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"REC INPUT"を選び SET/DEMO キーを押す**

REC INPUT

REC INPUT表示

❹ **VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"DIGITAL"または"ANALOG"を選び、SET/DEMO キーを押す**

DIGITAL

DIGITAL

録音レベルを調節する（REC LEVEL）

BS/CSチューナーなどの外部ソース機器からのデジタル信号の録音レベルを調節します。
("CDの録音形式（デジタル／アナログ）を選ぶ（REC INPUT)" で選んだ録音形式について録音レベルを調節できます。）

❶ **MODE キーを押す**

❷ **VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"REC LEVEL"を選び SET/DEMO キーを押す**

REC LEVEL

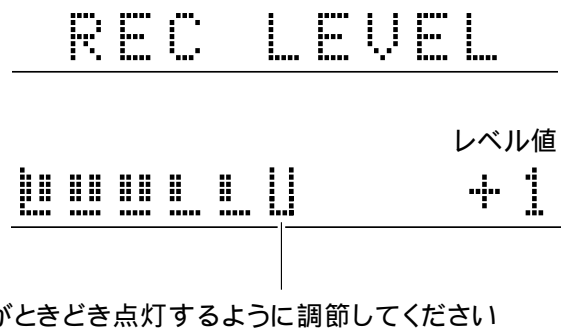
❸ **VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、録音入力レベル（-∞ ～ +12）を調節する**

レベル値

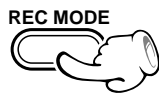
+1

ここがときどき点灯するように調節してください

❹ **SET/DEMO キーを押して確定する**

基本編

長時間録音をする（REC MODE）

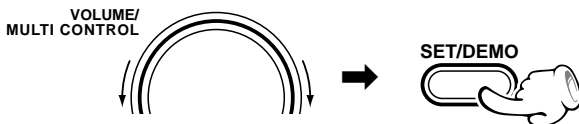
必要に合わせて録音モード（REC MODE）を選ぶことができます。（停止中のみ）

❶ 入力切換を"MD"にする
❷ "PGM"表示が点灯しているときは、停止中に PGM キーを押して消灯させる
❸ REC MODE キーを押す

押すたびに切り変わります

- ① **STEREO :** ステレオ録音モード
- ② **LP2 :** ステレオ2倍長時間録音モード
- ③ **LP4 :** ステレオ4倍長時間録音モード
- ④ **MONO :** モノラル録音モード

REC MODE 表示
LP 2

❹ ❸で "LP2" または "LP4" を選んだときは、SET/DEMO キーを押す

❺ VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、"LP : STAMP on" または "LP : STAMPoff" を選 SET/DEMO キーを押す

回すと表示が切り換わります。

- **"LP : STAMP on"** ：曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
- **"LP : STAMPoff"** ：曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

REC MODE（録音モード）	STEREO（ステレオ録音モード）	MONO（モノラル録音モード）	LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）	LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）
REC MODE 表示*	消灯	MONO	LP2	LP4

* REC MODE 表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

ステレオ長時間録音について（LP4、LP2）：
ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合：
ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

スタンプ（STAMP）機能：
本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に "LP:" を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に "LP:" が表示されます。
"LP:" は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ（STAMP）機能のオン（"LP:" をつける）またはオフ（"LP:" をつけない）の設定をすることができます。

基本編

MD録音のトラック番号について (TRACK MARK)

"TRACK MARK" 表示のとき、SET/DEMO キーを操作すると録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを設定する表示になります。このとき、VOLUME/ MULTI CONTROL つまみで設定し、SET/DEMO キーで確定します。初期設定は "AUTO" です。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"TRACK MARK"を選び 、SET/DEMO キーを押す

❸ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"AUTO"または"MANUAL"を選び、SET/DEMO キーを押す

TRACK MARK 表示

AUTO :
通常の録音時はこのモードにしておきます。
DVD(MP3、VCD)やCDのアナログ録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。
外部入力機器からの録音のとき、入力信号が約2秒一定のレベル以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(チューナー録音の場合、信号のノイズ等により、トラック番号が繰り上がらない場合があります。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が "1" 繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。("曲をつなぐ(COMBINE)" を操作する→ 82)
このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。
CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に "1" 繰り上げます。無音の検出はしません。CDの早送り、早戻し中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。
再生側のディスクが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

MANUAL:
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(TRACK EDIT キーを押す)、または録音後 ("曲を分ける(DIVIDE)" を操作する→ 80)、トラック番号を付けることができます。
ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

TRACK EDIT

サンプリング・レート・コンバーターについて

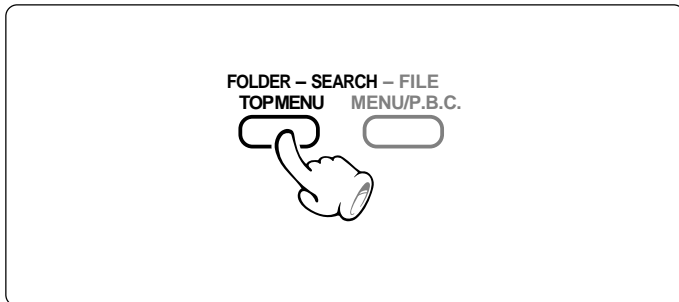
通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz　: BSチューナーのAモード放送等。
44.1 kHz : CD、MD等。
48 kHz　: CSチューナー、BSチューナーのBモード放送等。

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、32kHz,
48kHzのデジタル信号は、MDのサンプリング周波数（44.1kHz）に変換して録音することができます。

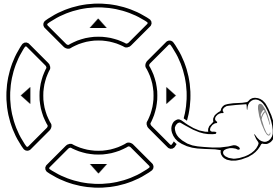
DVD のメニュー再生をする DVD

トップメニューあるいはメニューの記録された DVD を再生すると、トップメニュー画面またはメニュー画面を表示します。対話方式を使って再生したいところを簡単に選ぶことができます。
以下の操作は基本的な操作です。再生ソフトにより操作が異なる場合があります。

入力切換を "DVD/CD" にする → 28

1 TOP MENU/ FOLDER SEARCH キーを押す

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、**TOP MENU/FOLDER SEARCH** キーをもう一度押すと、最初にキーを押した場面まで戻り、そこから再生します。
- **MENU/P.B.C./FILE SEARCH** キーを押すとメニュー画面を表示します。操作はトップメニュー画面での操作と同じです。

2 メニュー画面で項目を選ぶ

❶ **カーソルキー(◄ ► ▲ ▼)または、数字キーを押して、再生したい場面を選ぶ**

❷ **ENTER キーを押して、再生をはじめる**

- 数字キーで項目を選んだときは、手順 2 - ❷ は必要ありません。

次々とメニューを表示するときは、手順 ❶ 、❷ を繰り返します。

- メニューが階層構造の場合は、1 つ下の階層のメニューに移動します。

P.B.C.付きのVCDのメニュー再生をする VCD

プレイバックコントロール(P.B.C.)付きVCDをP.B.C.オンで再生するとメニュー画面を表示します。このときは、メニュー画面の手順に従って操作をしてください。(詳しい操作方法、操作キーは再生するソフトに付属の説明書をご覧ください)

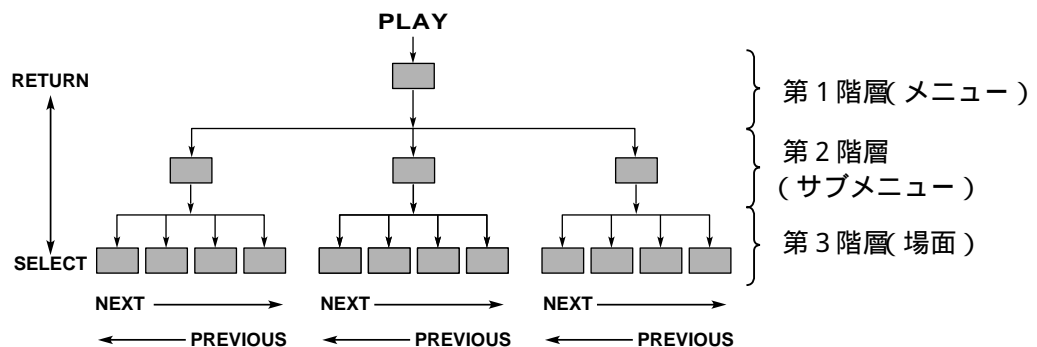
VCD 再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

本機の操作ボタン	ENTER	RETURN	⏮	⏭
ソフトのジャケットの表示	▶ (SELECT)	(RETURN)	⏮ (PREVIOUS)	⏭ (NEXT)

● ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

VCDメニューの階層構造について:

メニュー画面付きの P.B.C. 付き VCD を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが階層的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で項目を選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例:

進むとき:
ENTER (SELECT)キー、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層のメニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき:
RETURN キーを押すたびに、一つ上の階層へ戻っていきます。

● 各階層で選択可能なメニュー(場面)が複数ある場合は、⏮ (**PREVIOUS**)キーまたは ⏭ (**NEXT**)キーで画面の切り換えができます。

P.B.C. のオン/オフを切り換える

❶ **DVD/CDプレーヤーに VCD を入れる**
❷ **入力切り換えを "DVD/CD" にする**
❸ **DVD/CDプレーヤーが再生中のときは停止させる**
❹ **MENU/P.B.C./FILE SEARCH キーを押す**

押すたびに切り換わります。

P.B.C.オン
テレビに "**P.B.C. On**" と表示し、プレイバックコントロール付きのVCDをP.B.C.に従って再生します。

P.B.C. オフ
テレビに "**P.B.C. Off**" と表示し、プレイバックコントロール付きのVCDをP.B.C.をオフにして、通常の再生をします。

応用編

本機で再生できるMP3ファイルについて

CD-R/RW ディスクに記録された、MP3 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。使用するCD-R/RWの特性、記録状態等により、本機では再生できない場合があります。

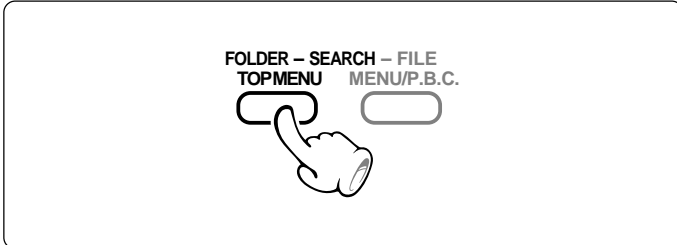
- MP3 ファイル(MPEG1 AUDIO(オーディオ) LAYER(レイヤー) 3)に圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
  推奨128kbps（32kbps 〜320kbps）
- 本機は、32kHz 、44.1kHz（推奨）、48kHz のサンプリング周波数に対応しています。
- 本機はクローズ処理されたマルチセッションディスクに対応しています。
- 本機で再生できる最大ファイル数は 999 に制限されています。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。
- 本機は ISO 9660 レベル1に対応しています。
- MP3 以外のファイルにMP3 の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てヘッドホンが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。
- 表示される文字数は、. MP3 の拡張子をのぞく8文字までです。

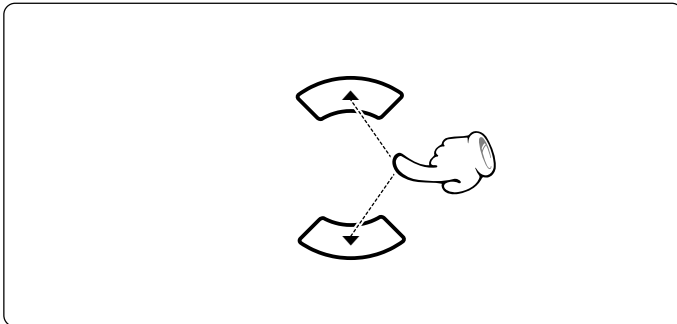
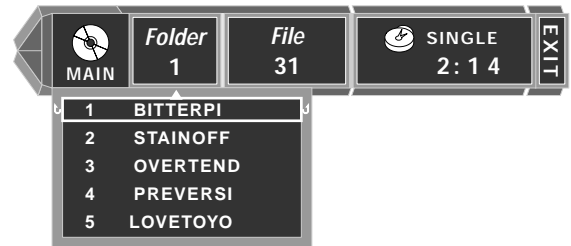
聴きたいフォルダまたはファイルをタイトルで探す MP3

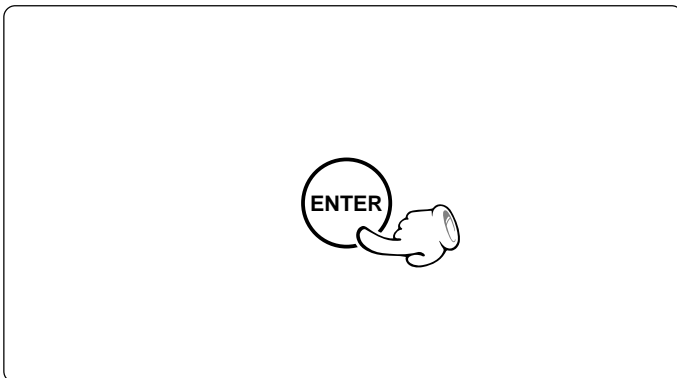
MP3 ファイルのとき、聴きたいフォルダのタイトルやファイルのタイトルから探し出すことができます。

入力切換を "DVD/CD" にする →28

1 TOP MENU/FOLDER SEARCH キーを押す

点滅

- ファイルサーチのときは、**MENU/P.B.C./FILE SEARCH** キーを押します。

2 カーソルキー(▲ ▼)を押し、聴きたいフォルダまたはファイルのタイトルを選ぶ

中止するときは、もう一度 TOP MENU/FOLDER SEARCH キーを押します

3 再生する

- フォルダサーチのときは、選んだフォルダの最小ファイルから再生がはじまります。
- ファイルサーチのときは、選んだファイルから再生がはじまります。

"MAIN"の設定

接続したテレビに合わせる設定や視聴制限、OSD位置、オンスクリーンメッセージ、IPB表示の設定を行います。

"SETUP MENU"で"MAIN"を選んだとき：

"**視聴制限**" の設定
DVDビデオの視聴制限を設定します。（視聴制限に対応したDVDビデオのみ機能します。）

"**TV アスペクト**" の設定
接続したテレビのアスペクト比に合わせて設定します。

"**TV モード**" の設定
接続したテレビのアスペクト比が4：3のときに設定します。

"**OSD 位置**" の設定
OSD（On Screen Display）の表示位置を設定します。

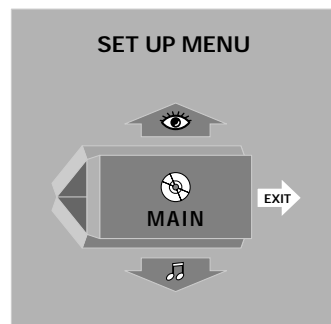
"**オンスクリーンメッセージ**" の設定
オンスクリーンメッセージのオン／オフを切り換えます。

"**IPB 表示**" の設定
IPB 表示のオン／オフを切り換えます。

入力切換を "DVD/CD"にする →28

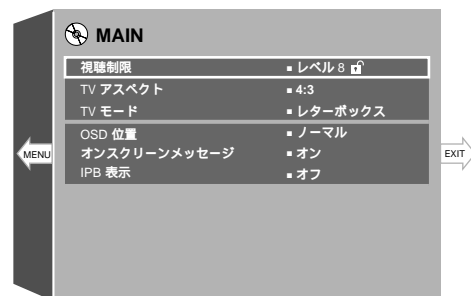
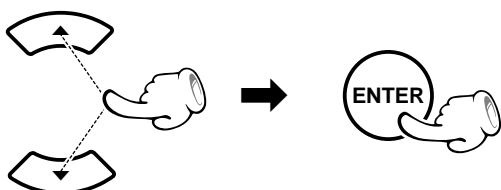
1 "SET UP MENU MAIN" を選ぶ

停止中に押す

❶ SET UPキーを押す

❷ ENTER キーを押す

- "**SET UP MENU**" 画面表示中に、**RETURN** キーを押すか、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。
- リジューム機能が働いているとき **SET UP** キーを押すとリジューム機能が解除されます。

2 変更する項目を選ぶ

カーソル(▲ ▼)キーを押して、変更する項目を選び、ENTER キーを押す

- 設定画面表示中に、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。（**RETURN** キーを押すか、カーソル(◄)キーを押しても "**SET UP MENU**" にもどります）

3 内容を変更する

カーソル(▲ ▼)キーを押して、内容を変更し、ENTER キーを押す

- 画面の "↩" を選び ENTER キーを押すと設定画面にもどります。(RETURN キーを押すか、カーソル(◀)キーを押しても設定画面にもどります)

設定項目	設定内容
" **視聴制限** " (視聴レベルを変更すると暗証番号入力画面になります。 →56)	"**8 制限なし**" **:** 成人向け、一般向け、子供向けなどすべてのDVDソフトを再生したいときに選びます。 "**7**"〜"**1**" **:** 制限レベルが記録されている DVD ソフト(成人向けや暴力シーンを含むもの)は、その制限レベルに応じて再生を制限します。 "**0 すべて不可**"**:** すべてのDVDソフトの再生を禁止したいときに選びます。たとえば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDソフトの再生を禁止したいときなど。 **"暗証番号変更" :** 暗証番号を登録した後、視聴制限の暗証番号を変更するときに選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません) **"一時解除" :** 暗証番号を登録した後、視聴制限を一時的にやめたいときに選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません)
"**TV アスペクト** "	"**4 : 3**" **:** アスペクト比が 4:3 の従来サイズのテレビと接続したときに選んでください。 "**16 : 9**" **:** アスペクト比が 16:9 のワイドサイズのテレビと接続するときに選んでください。ワイドソフトはフル画面で再生されます。(テレビ側の画面モードをフルに設定してください)
"**TV　モード** "	"**パン & スキャン**" **:** パン&スキャン指定されたワイドソフトを、パン&スキャン画面(両側または片側の切れた画面)で再生します。ただしパン&スキャン指定のないソフトは、レターボックスで再生します。 "**レターボックス**" **:** パン&スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックス画面(上下に黒い帯のある画面)で再生されます。
"**OSD 位置** "	"**ノーマル**" **:** テレビ画面の上部に表示させます。通常はこの設定を選びます。 "**シネマ**" **:** テレビ画面のやや下に表示させます。OSD やオンスクリーンメッセージがテレビ画面からはみだしてしまうときに選びます。

次のページにつづく

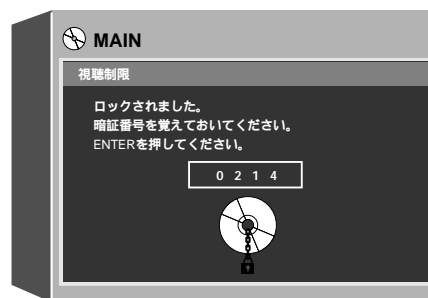
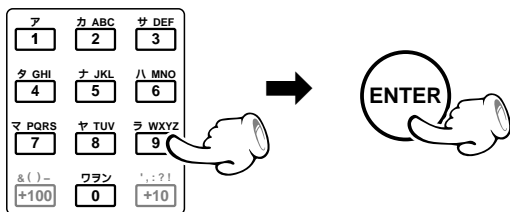
応用編

設定項目	設定内容
"**オンスクリーンメッセージ**"	"**オン**" : オンスクリーンメッセージを表示させるときに選んでください。 "**オフ**" : オンスクリーンメッセージを表示させたくないときに選んでください。
"**IPB 表示**"	"**オン**" : IPB 表示をするときに選びます。 "**オフ**" : IPB 表示をしないときに選びます。

設定を変更したあと、設定画面を表示したまま、電源をオフにするとその設定内容が無効となります。設定画面を閉じてから電源をオフにしてください。

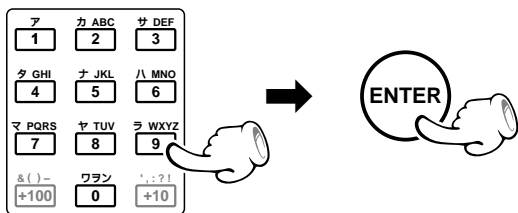
暗証番号を入力する

暗証番号を設定していないとき :

❶ 数字キーで暗証番号を入力して、ENTER(エンター) キーを押す。

❷ 登録した暗証番号はメモをとり大切に保管してから ENTER(エンター) キーを押す

- 暗証番号の入力画面が確認画面に切り換わり、ご自身で登録した暗証番号をテレビ画面に表示します。
- 暗証番号は視聴制限の設定をする場合に必要となります。

暗証番号を設定しているとき :

数字キーで暗証番号を入力してENTER(エンター) キーを押す

"暗証番号変更"を選んだ場合はさらに、新しい暗証番号を入力する画面が開きます。数字キーで入力してから ENTER(エンター) キーを押すと暗証番号の確認画面に切り換わります。メモを取り大切に保管してから ENTER(エンター) キーを押してください。

"SOUND"の設定

本機のデジタル音声出力端子で関連システム機器を接続したときの音声出力方式の設定をするときに選びます。またDVDやVCDのサーチ中の音声出力、ダイナミックレンジコントロール機能の設定を行います。

"SETUP MENU"で"SOUND"を選んだとき：

"**デジタル出力 PCMダウンサンプリング変換**" の設定
ハイサンプリングレートのデジタル信号出力のダウンサンプリング変換のオン/オフを切り換えます。

"**デジタル出力 DOLBY DIGITAL**" の設定
DOLBY DIGITAL 出力を設定します。

"**デジタル出力 DTS**" の設定
DTS 出力を設定します。

"**デジタル出力 MPEG**" の設定
MPEG 出力を設定します。

"**サーチ音声**" の設定
サーチ中の音声のオン／オフを切り換えます。

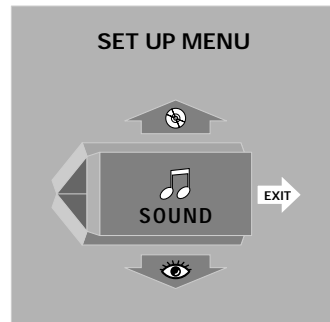
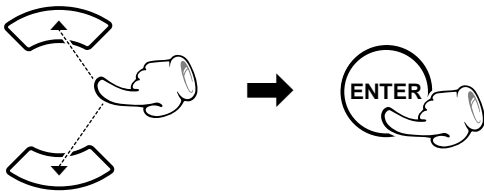
"**ダイナミックレンジコントロール**" の設定
ダイナミックレンジコントロール機能の切り換えをします。

入力切換を "DVD/CD" にする → 28

1 "SET UP MENU SOUND" を選ぶ

停止中に押す

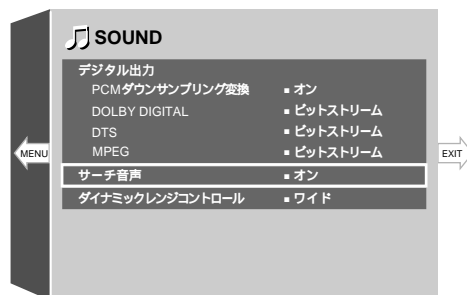
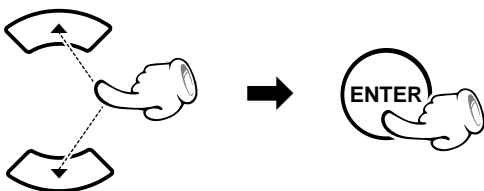
❶ SET UPキーを押す

❷ カーソル(▲ ▼)キーを押して、"SET UP MENU SOUND"を選び、ENTER キーを押す

- "SET UP MENU" 画面表示中に、RETURN キーを押すか、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。

2 変更する項目を選ぶ

カーソル(▲ ▼)キーを押して、変更する項目を選び、ENTER キーを押す

- 設定画面表示中に、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。（RETURN キーを押すか、カーソル(◄)キーを押しても "SETUP MENU" にもどります）

応用編

次のページにつづく

3 内容を変更する

カーソル(▲ ▼)キーを押して、内容を変更し、ENTER キーを押す

● 画面の "↩" を選び ENTER キーを押すと設定画面にもどります。(RETURN キーを押すか、カーソル(◀)キーを押しても設定画面にもどります)

設定項目	設定内容
"デジタル出力 PCM ダウンサンプリング変換"	"**オン**"：48 kHz はたは 44.1 kHz/16bit の PCM にダウンコンバージョンします。接続した AV アンプが 96 kHz のデジタル入力に対応していないときに選びます。 ● アナログ出力の信号も同様に変換されます。 "**オフ**"：ダウンコンバージョンはしません。接続した AV アンプが 96 kHz のデジタル入力に対応しているときに選びます。ただし96kHzのデジタル出力が禁止されているディスクについてはダウンコンバージョンをして出力します。
"デジタル出力 DOLBY DIGITAL" *1	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続するときに選びます。 "**PCM**"：48 kHz（2ch.）の PCM に変換をして出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続していないときに選びます。
"デジタル出力 DTS" *2	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。DTSデコーダーと接続するときに選びます。 "**オフ**"：デジタル出力はしません。
"デジタル出力 MPEG"	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。MPEGデコーダーと接続するときに選びます。 "**PCM**"：48 kHz または 44.1 kHz(2ch.) の PCM に変換をして出力します。MPEG デコーダーと接続していないときに選びます。

MP3ファイルを再生しても、デジタル出力しません。

*1 ドルビーデジタルデコーダー以外の機器を接続するときは、"**PCM**"に設定してください。"**ビットストリーム**" に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。
*2 DTSデコーダーを内蔵していない機器に接続すると、スピーカーからノイズが出ることがあります。DTSデコーダーを内蔵していない機器には、絶対に接続しないでください。

設定項目	設定内容
" サーチ音声 "	"**オン**"：早送り中の音声を出力するときに選びます。 "**オフ**"：早送り中の音声を出力しないときに選びます。
" ダイナミックレンジコントロール "	"**ワイド**"：ディスクの音声レベルで再生します。 "**ノーマル**"：最大音量と最小音量の差が少なくなります。 "**ミッドナイト**"：最大音量と最小音量の差がさらに少なくなります。深夜など、小音量で再生をするときに選んでください。

設定を変更したあと、設定画面を表示したまま、電源をオフにするとその設定内容が無効となります。設定画面を閉じてから電源をオフにしてください。

"VISUAL"の設定

本機のメニュー画面の表示言語やディスクのメニュー画面の表示言語、音声言語、字幕言語などを変更する場合に選びます。（選んだ言語がそのDVDディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。）
またスチルモード、S 端子モードの設定を行います。

"SETUP MENU"で"VISUAL"を選んだとき：

"**プレーヤーメニュー言語**" の設定
本機のメニュー画面などの表示言語を設定します。

"**ディスクメニュー言語**" の設定
ディスクのメニュー画面の表示言語を設定します。

"**音声言語**" の設定
ディスクの音声言語を設定します。

"**字幕言語**" の設定
ディスクの字幕言語を設定します。

"**スチルモード**" の設定
スチル画像のブレを押さえるときに選びます。

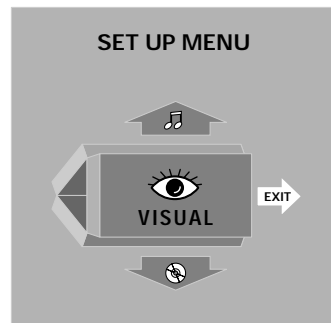
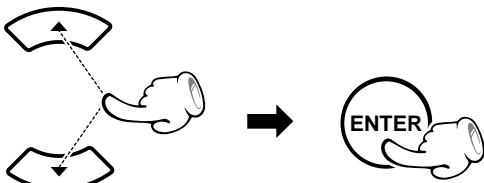
"**S 端子モード**" の設定
本機の **映像出力 S1/S2 VIDEO** 端子の出力信号を設定します。

入力切換を "DVD/CD" にする →28

1 "SET UP MENU VISUAL" を選ぶ

停止中に押す

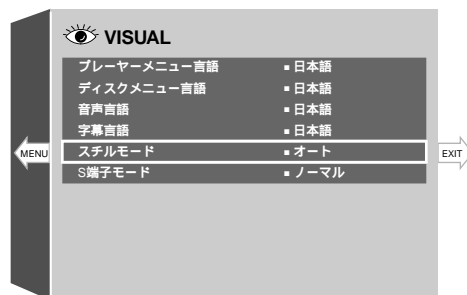
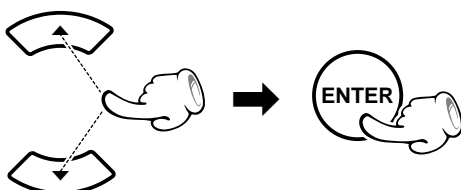
❶ **SET UPキーを押す**

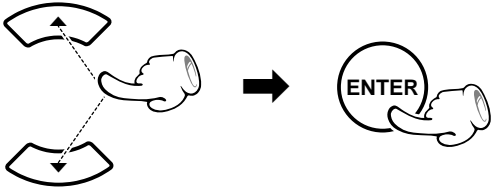
❷ **カーソル(▲ ▼)キーを押して、"SET UP MENU VISUAL"を選び、ENTER キーを押す**

- "SET UP MENU" 画面表示中に、**RETURN** キーを押すか、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。

2 変更する項目を選ぶ

カーソル(▲ ▼)キーを押して、変更する項目を選び、ENTER キーを押す

- 設定画面表示中に、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。（**RETURN** キーを押すか、カーソル(◄)キーを押しても "**SETUP MENU**" にもどります）

応用編

3 内容を変更する

カーソル(▲ ▼)キーを押して、内容を変更し、ENTER キーを押す

- 画面の "↩" を選び ENTER キーを押すと設定画面にもどります。(RETURN キーを押すか、カーソル(◀)キーを押しても設定画面にもどります)
- "**その他 _ _ _ _**" を選んだときは、数字キーでコード番号を入力してから ENTER キーを押してください。

設定項目	設定内容
" プレーヤーメニュー言語 "	"**英語**" **:** 英語で表示するときに選びます。 "**フランス語**" **:** フランス語で表示するときに選びます。 "**スペイン語**" **:** スペイン語で表示するときに選びます。 "**ドイツ語**" **:** ドイツ語で表示するときに選びます。 "**イタリア語**" **:** イタリア語で表示するときに選びます。 "**日本語**" **:** 日本語で表示するときに選びます。 "**簡体字中国語**" **:** 簡体字中国語で表示するときに選びます。 "**繁体字中国語**" **:** 繁体字中国語で表示するときに選びます。
"ディスクメニュー言語"	"**英語**" **:** 英語で表示するときに選びます。 "**日本語**" **:** 日本語で表示するときに選びます。 "**その他 _ _ _ _**"："**ディスクの言語コード表**" のコード番号で言語を指定するときに選びます。 →63
" 音声言語 "	"**オリジナル**" **:** ディスク側での優先言語で再生するときに選びます。 "**英語**" **:** 英語で再生するときに選びます。 "**日本語**" **:** 日本語で再生するときに選びます。 "**その他 _ _ _ _**"："**ディスクの言語コード表**" のコード番号で言語を指定するときに選びます。 →63

次のページにつづく

設定項目	設定内容
" 字幕言語 "	"**オート**" **:** "音声言語"の設定に応じて、字幕言語を自動設定します。 **字幕を表示しないとき** "**音声言語**" で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。 **字幕を表示するとき** "**音声言語**" で設定した言語で再生されなかったときは、"**音声言語**" で設定した言語で字幕を表示します。 "**英語**" **:** 英語字幕を表示します。 "**日本語**" **:** 日本語字幕を表示します。 "**その他 _ _ _ _**" **:** "**ディスクの言語コード表**" のコード番号で言語を指定するときに選びます。 →63
" スチルモード " の設定	"**オート**" **:** フレームスチルまたはフィールドスチルを自動的に切り換えます。通常はこの設定を選びます。 "**フレーム**" **:** スチル映像の画質を良くしたいときに選びます。（フィールド、スチル映像が交互に映し出されるのでその分映像はブレます） "**フィールド**" **:** スチル映像をブレないようにします。（映像情報はフレームの半分になりますのでその分画質は荒くなります）
"S 端子モード " の設定	"**ノーマル**" **:** Sビデオで接続したときに選びます。 Sビデオ接続するときは本機の **映像出力 S1/S2 VIDEO** 端子をご使用の上、"**ノーマル**"に切り換えてください。 "**S1**" **:** S1ビデオで接続したときに選びます。 S1ビデオ接続するときは本機の **映像出力 S1/S2 VIDEO** 端子をご使用の上、"**S1**" に切り換えてください。 "**S2**" **:** S2ビデオで接続したときに選びます。 S2ビデオ接続するときは本機の **映像出力 S1/S2 VIDEO** 端子をご使用の上、"**S2**" に切り換えてください。

設定を変更したあと、設定画面を表示したまま、電源をオフにするとその設定内容が無効となります。設定画面を閉じてから電源をオフにしてください。

ディスクの言語コード表

コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーンス
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイマラ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベルロシア（白ロシア）
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリシャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド（ゲール）
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国（朝鮮）語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パトシュ
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベク
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

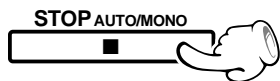
曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生） VCD CD MD

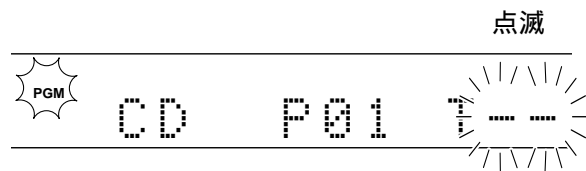
お気に入りのディスクから、好きな曲を自由にプログラムできます。
（DVD ビデオはプログラム再生することはできません）

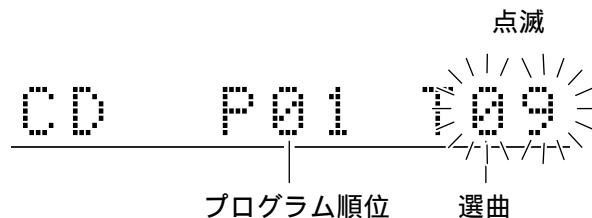
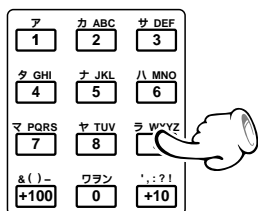
入力切換を"VCD/CD"または"MD"にする →28 →36

1 停止を確認する

再生中のとき

STOP ■/AUTO/MONO キーを押す

- P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 →51

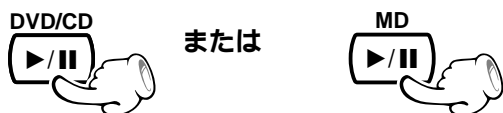
2 "PGM"表示を点灯させる

3 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 数字キーで曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10、2
20曲目なら .... +10、+10、0

❷ SETキーを押す

- 32曲まで選べます。"**PGM FULL**"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- トラック番号表示の点滅中に**SET**キーを押さないと入力が中止されます。

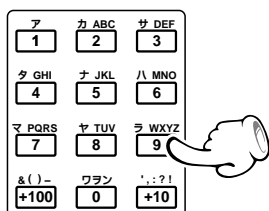
❸ 手順 ❶、❷ を繰り返す

4 再生する

- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に ⏮ または ⏭ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ⏮ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

停止中に押す

点滅

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2

40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0

❷ SET（セット）キーを押す

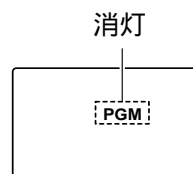
- 32曲まで選べます。"PGM FULL（プログラム フル）"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

消灯

応用編

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容はクリアーされます。

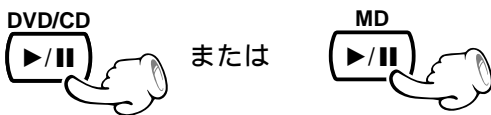
繰り返し聴く(リピート再生)

お気に入りの映像や音声があれば、繰り返し再生することができます。一部の DVD や VCD 等、収録内容の区切りとトラック番号(曲番号)の間には関連がありません。このため再生するソフトによっては、この操作はできない場合があります(再生経過時間が表示されないディスクはこの操作はできません)。
(DVD や VCD の P.B.C. 再生中はリピート再生ができないことがあります。)

入力切換を"DVD/CD"または"MD"にする →28 →36

1枚のディスクを繰り返し聴く DVD VCD CD MP3 MD

❶ "PGM(プログラム)"表示が点灯しているときは、停止中にPGM(プログラム) キーを押して消灯させる

❷ 再生する

❸ REPEAT(リピート) キーを繰り返し押して、" ⊂ " を選ぶ

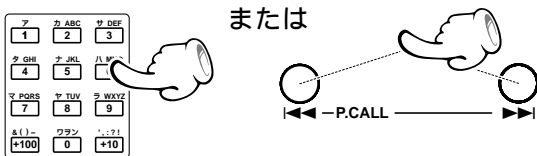
● DVD の場合は、タイトルリピートになります。

繰り返し再生をやめるには

REPEAT(リピート)キーを表示が消えるまで繰り返し押す
または、STOP(ストップ)■/TUNING(チューニング)/MODE(モード) キーを押す(MD を除く)

1曲だけを繰り返し聴く DVD VCD CD MP3 MD

❶ "PGM(プログラム)"表示が点灯しているときは、停止中にPGM(プログラム) キーを押して消灯させる

❷ 数字キーまたは |◀◀、▶▶| キーで聴きたい曲番号を選ぶと再生が始まる

❸ REPEAT(リピート) キーを繰り返し押して, " ⊂1 " を選ぶ

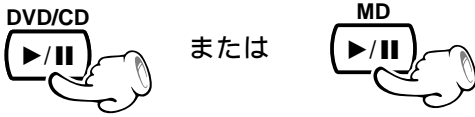
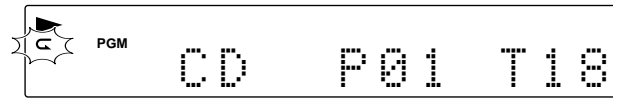
● DVD の場合は、チャプターリピートになります。

繰り返し再生をやめるには

REPEAT(リピート)キーを表示が消えるまで繰り返し押す
または、STOP(ストップ)■/TUNING(チューニング)/MODE(モード) キーを押す(MD を除く)

選んだ曲だけを繰り返し聴く VCD CD MD

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 ❸ までを行い、聴きたい曲をプログラムする →64

❷ 再生する

❸ REPEATキー押して "⊂" を選ぶ

繰り返し再生をやめるには

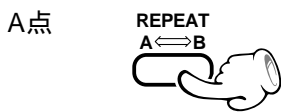
REPEATキーを表示が消えるまで繰り返し押す
または、STOP■/TUNING/MODE キーを押す（MDを除く）

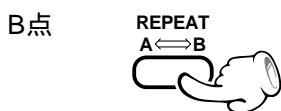
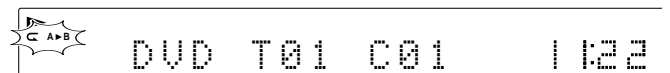
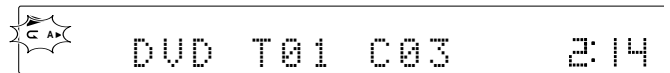
A-B リピート再生をする DVD VCD CD

再生しているときに、指定した区間を繰り返し再生します。（DVD や VCD の P.B.C. 再生中は A-B リピート再生ができないことがあります。）

"PGM"表示が点灯しているときは、停止中に PGM キーを押して消灯させる

❶ 再生する

❷ 繰り返しをはじめるところで押す

開始場所Aが指定されます。

❸ 繰り返しを終わらせるところで押す

終了場所 B が指定され、A B 間の繰り返し再生が始まります。

繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEAT A B キーを押す

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生） VCD CD MD

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"DVD/CD"または"MD"にする →28 →36

❶ **"PGM"表示が点灯しているときは、停止中にPGM キーを押して消灯させる**

❷ **ランダム再生を始める**

● P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 →51

● 全曲の再生が1回終わると停止します。
● **REPEAT** キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶| キーを押す

● |◀◀キーを１回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

再生中に RANDOM キーまたは STOP ■/AUTO/MONO キーを押す

● **RANDOM** キーを押すと曲番号順の再生に戻ります。
● **STOP ■/AUTO/MONO** キーを押すと停止状態になります。

便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください
MDへの録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。

ワンタッチエディット全曲録音

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音みの対応となります。 →70

ワンタッチエディット一曲録音

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音みの対応となります。 →72

プログラム録音

プログラムした曲順で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音みの対応となります。 →74

シンクロ録音

DVDビデオの同一タイトル内のすべてのチャプターを録音するときに便利です。 →44 →45

ワンタッチエディット全曲録音 CD VCD MP3 ➡ MD

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。

CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音のみ対応となります。

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください

CDのデジタル録音とアナログ録音を必要に合わせて選ぶことができます。 →46

必要に合わせて録音モード(REC MODE)を選ぶことができます。 →47

- 倍速録音をするときは、CDの録音形式を "**DIGITAL**" にしてください。
- SCMS によりデジタル録音できないときがあります。 →101

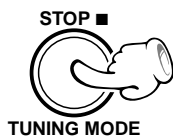
1 録音の準備をする

❶ **MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる**

❷ **"RANDOM" 表示の消灯を確かめる**

❸ **DVD/CDプレーヤーにCD(VCD、MP3)を入れる**

- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 DVD/CDプレーヤーが再生中のときは停止させる

- P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 →51

MP3ディスクをMDに録音する場合は、停止中(▶表示消灯)では全曲を録音します。また、フォルダサーチ中(表示点滅)では現在選ばれているフォルダに収録されている全曲を録音します。

3 録音を始める

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"O.T.E. MODE" を選び、 SET/DEMO キーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"NORMAL SP" または "HIGH SP" を選び、SET/DEMO キーを押す

回すと表示が切り換わります。

① "NORMAL SP"： 通常速録音
② "HIGH SP"： 倍速録音

リモコンで操作するときは、 O.T.E. キーを押す。
("NORMAL SP" 録音のみに使用できます。)

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度の録音で録音しなおしてください。

- 録音が終了するとディスクは一時停止状態になります。
- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait 74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音で録音してください。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

ワンタッチエディット1曲録音 CD DVD MP3 VCD ➡ MD

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。

CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音のみ対応となります。

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

CDのデジタル録音とアナログ録音を必要に合わせて選ぶことができます。 ➡46

必要に合わせて録音モード（REC MODE）を選ぶことができます。 ➡47

- 倍速録音をするときは、CDの録音形式を "**DIGITAL**" にしてください。
- SCMS によりデジタル録音できないときがあります。 ➡101

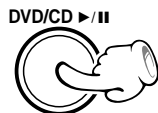
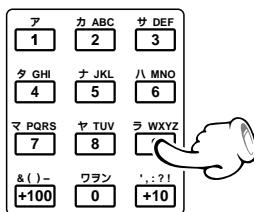
1 録音の準備をする

❶ **MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる**

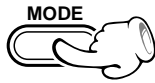
❷ **"RANDOM" 表示の消灯を確かめる**

❸ **DVD/CDプレーヤーにDVD（VCD、CD、MP3）を入れる**

- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音したい曲を再生する

❶ **DVD/CD ▶/❚❚ を押す**

❷ **録音したい曲を選ぶ**

- P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 ➡51

応用編

3 録音を始める

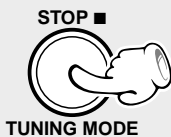
❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"O.T.E. MODE" を選び、 SET/DEMO キーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"NORMAL SP" または "HIGH SP" を選び、SET/DEMO キーを押す

リモコンで操作するときは、 O.T.E. キーを押す。("NORMAL SP" 録音のみに使用できます。)

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度の録音で録音しなおしてください。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

回すと表示が切り換わります。

① **"NORMAL SP"**： 通常速録音
② **"HIGH SP"**： 倍速録音

- 曲の途中で手順 3 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。
- 録音が終了するとディスクは一時停止状態になります。(DVD ビデオをのぞく)
- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait 74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音で録音してください。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲順を並べ替えて録音する CD VCD ➡ MD

プログラムした曲順で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。

CD以外のディスクは、アナログダビングのため、通常速度の録音のみ対応となります

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

CDのデジタル録音とアナログ録音を必要に合わせて選ぶことができます。 →46

必要に合わせて録音モード(REC MODE)を選ぶことができます。 →47

- 倍速録音をするときは、CDの録音形式を "**DIGITAL**" にしてください。
- SCMS によりデジタル録音できないときがあります。 →101

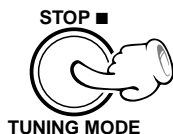
1 録音の準備をする

❶ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる

❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる

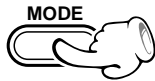
❸ DVD/CDプレーヤーにCD(VCD)を入れる

- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 DVD/CDプレーヤーが再生中のときは停止させる

- P.B.C.の設定をオンにしているときは、P.B.C.をオフにしてください。 →51

3 CDの曲順をプログラムする

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順 ❷ ～ ❸ までを行い、録音する曲をプログラムする →64

- 同じ曲を2回以上プログラムした場合、手順 ❹-❸ で "**HIGH SP**" は選べません。

応用編

4 録音を始める

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"O.T.E. MODE" を選び、 SET/DEMO キーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"NORMAL SP" または "HIGH SP" を選び、SET/DEMO キーを押す

リモコンで操作するときは、 O.T.E. キーを押す。("NORMAL SP" 録音のみに使用できます。）

回すと表示が切り換わります。

① "NORMAL SP"： 通常速録音
② "HIGH SP"： 倍速録音

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度の録音で録音しなおしてください。

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait 74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音で録音してください。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

MDの編集機能

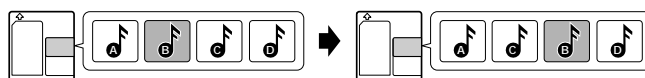
市販の録音用MDを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのMDは編集できません。

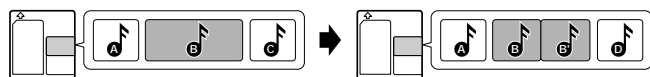
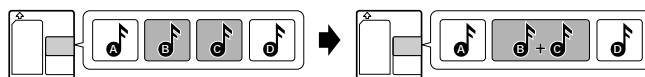
- 編集をするときは、MDの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。 →101

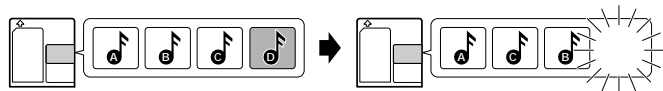
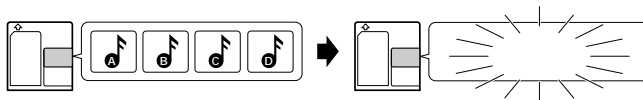
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →106

曲順の入れ替え

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE） →78

曲の分割と結合

曲を分ける（DIVIDE） →80

曲をつなぐ（COMBINE） →82

曲の消去

1曲消す（ERASE） →84

全曲消す（ALL ERASE） →85

MDや曲にタイトルをつける →86

タイトルをコピーまたはメモして、他のMDや曲につける（TITLE COPY）（TITLE MEMO） →90

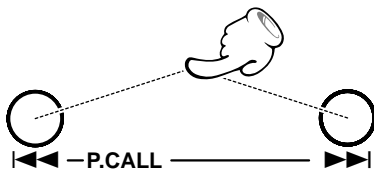
英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのMDをセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

曲順を1曲ずつ入れ替える(MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並び替えることができます。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

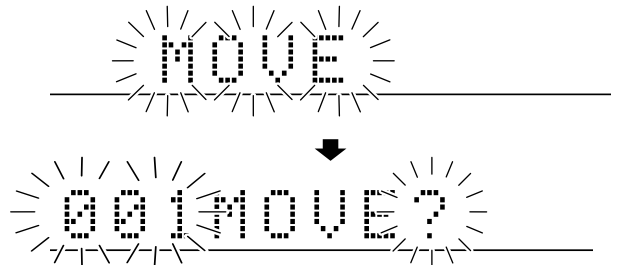
入力切換を"MD"にする →36

1 "MOVE "を選ぶ

❶ **TRACK EDIT キーを押す**

- 再生中に押すと、一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 4 の前に TRACK EDIT キーを押します。

❷ **"MOVE"を選ぶ**

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

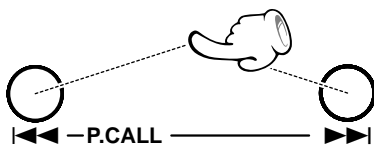
停止中	再生中
① "MOVE"	① "DIVIDE"
② "COMBINE"	② "COMBINE"
③ "ERASE"	③ "ERASE"
	④ "MOVE"

❸ **確定する**

(再生中に曲を移動する場合は、手順 3 へ)

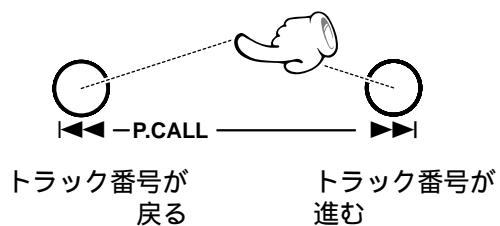
2 移動する曲を選ぶ

❶ **曲(トラック番号)を選ぶ**

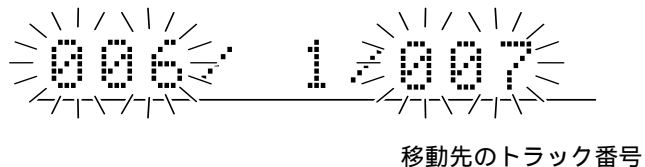
移動する曲

❷ **確定する**

3 移動先を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

トラック番号が戻る　　トラック番号が進む

❷ 確定する

トラックNo.6とNo.7の間に移動する例

移動先のトラック番号

4 曲の移動を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

5 編集終了後、MDを取り出す

情報を書き込み中　　MD排出

- ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ

移動する曲を選ぶ

移動先を選ぶ

曲順の入れ替えが完了する
（トラック番号が調整される）

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。

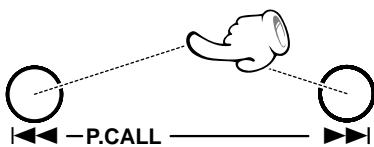
MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする →36

1 分割したい曲を再生する

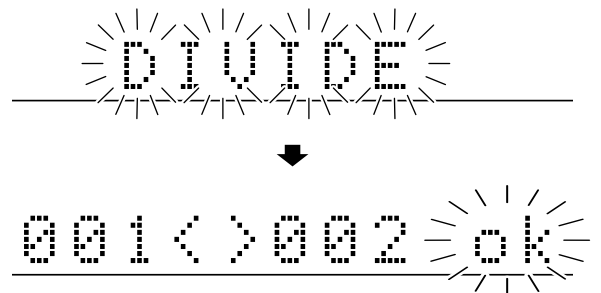
2 希望の所で TRACK EDITキーを押す

❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ "DIVIDE"を選ぶ

❸ 確定する

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約 2 秒以上後に分割ポイントを設定してください。約 2 秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TRACK EDIT キーを押します。

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① "DIVIDE"
② "COMBINE"
③ "ERASE"
④ "MOVE"

3 曲の分割を実行する

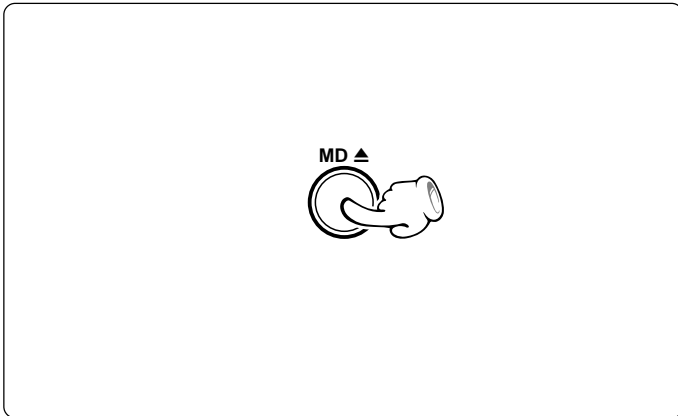
実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"(編集完了)
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"(編集不可能)

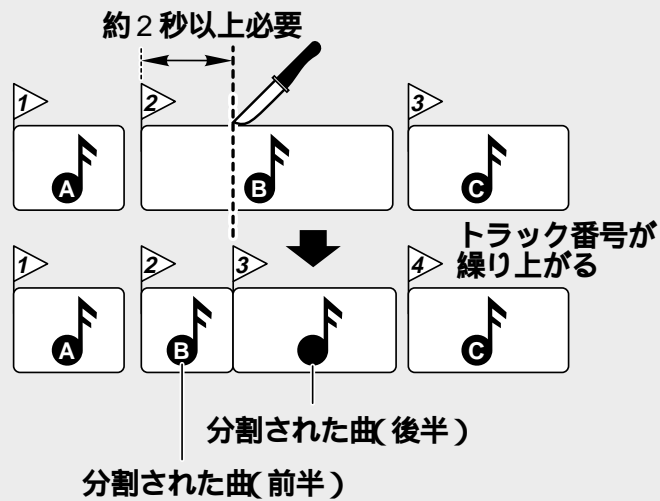
- 分割によってできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

手順 1 ～ 3 を繰り返して、最大 255 までトラック番号を追加できます。

4 編集終了後、MDを取り出す

● ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING"(ライティング) 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"(ライティング) が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分割するイメージ

曲をつなぐ(COMBINE)

連続する２つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つなだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

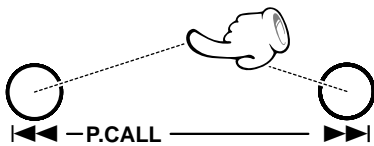
MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。(例 :" LP4 " ＋ " LP2 " 等)

入力切換を"MD"にする →36

1 "COMBINE"を選ぶ

❶ **TRACK EDIT キーを押す**

❷ **"COMBINE"を選ぶ**

❸ **確定する**

(再生中に曲をつなぐ場合は、手順 3 へ)

- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中に **TRACK EDIT** キーを押してください。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

|◀◀、▶▶| キーを押すたびに切り替わります。

停止中	再生中
① "MOVE"	① "DIVIDE"
② "COMBINE"	② "COMBINE"
③ "ERASE"	③ "ERASE"
	④ "MOVE"

- 1曲目の再生中、または一時停止中には "**COMBINE**" は表示されません。

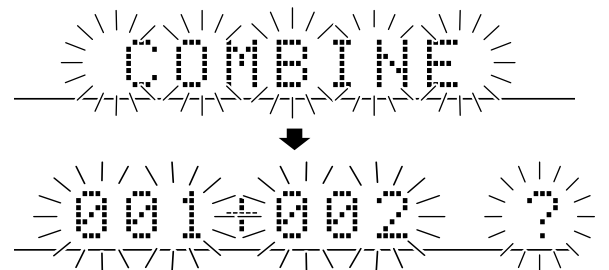
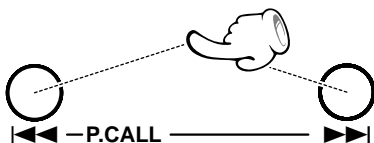
2 つなぎたい曲を選ぶ

❶ **曲(トラック番号)を選ぶ**

トラック番号が戻る

トラック番号が進む

6曲目と7曲目をつなぐ場合

❷ **確定する**

3 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

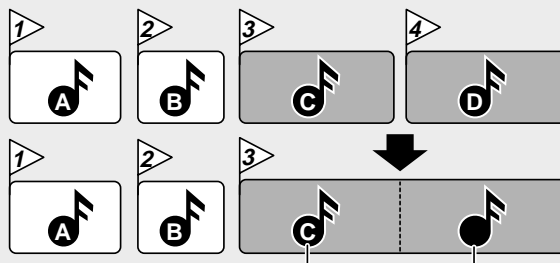
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

- ＭＤ規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

4 編集終了後、MDを取り出す

- ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲をつなぐイメージ

前半部のトラック番号とタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

1曲消す(ERASE)

選んだ1曲のみを消すことができます。消し終ると、その曲以降のトラック番号は調整されます。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする →36

1 消したい曲を再生する

2 "ERASE "を選ぶ

❶ **TRACK EDIT キーを押す**

● 途中でやめるには、手順 3 の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

❷ **"ERASE"を選ぶ**

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① **"DIVIDE"**
② **"COMBINE"**
③ **"ERASE"**
④ **"MOVE"**

❸ **確定する**

3 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"(編集完了)
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"(編集不可能)

4 編集終了後、MDを取り出す

情報を書き込み中　　MD排出

● ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

全曲消す(ALL ERASE)

停止中に全曲消すことができます。MD全体を消すと元に戻せませんので、十分注意してください。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

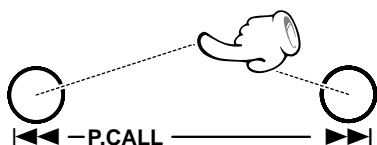
入力切換を"MD"にする →36

1 "all ERASE ?"を選ぶ

停止中に押す

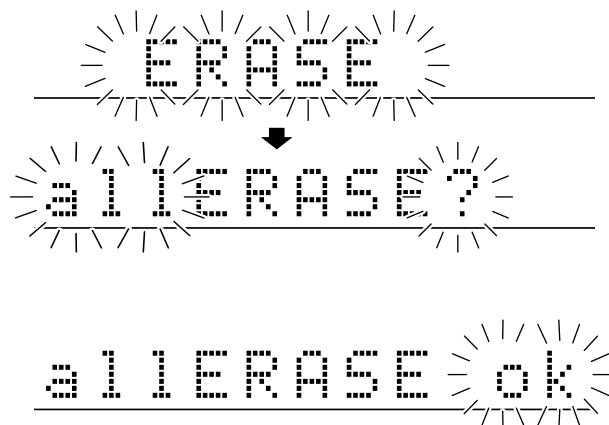
❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ "ERASE"を選ぶ

❸ 確定する

❹ もう一度確定する

- 途中でやめるには、手順 2 の前に TRACK EDIT キーを押します。

|◀◀、▶▶| キーを押すたびに切り換わります。

① "MOVE"
② "COMBINE"
③ "ERASE"

2 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"(編集完了)
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"(編集不可能)

3 編集終了後、MDを取り出す

情報を書き込み中　　MD排出

- ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

MDや曲にタイトルをつける

MDや曲に名前（タイトル）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

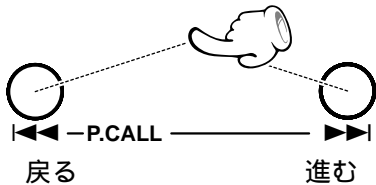
MDの編集を行うときは、停止中にPGM（プログラム）キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする →36

1 タイトル入力状態にする

停止中に押す

❶ **TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す**

❷ **編集するタイトルを選ぶ**

❸ **編集したいタイトルを確定する**

中止するときは、もう一度TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押します。

MDの録音モード（"LP2"または"LP4"）の設定で、スタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。 →47

登録されている各種記号（ASCII（アスキー）コード）一覧：
! " # $ % & ' ( ) ＊ + , - . / : ; < = > ` ? @ _

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR（クリアー）/DELETE（デリート））をご利用ください。 →87

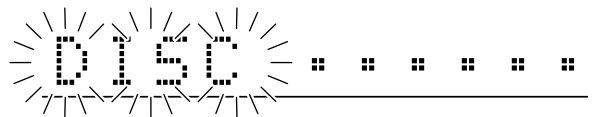
曲にタイトルをつけるときは、手順 1 - ❸ の前にMD ▶/II キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

|◀◀、▶▶| キーを押すと切り換わります。

① **"DISC（ディスク）"** : ディスクタイトル ***1**
② **"001", "002"…..** : トラックタイトル ***2**
③ **"ALL（オール） ERASE（イレース）"** : ディスクとトラックタイトルの全消去
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ ***3**

***1** 停止中に手順 1 - ❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
***2** |◀◀, ▶▶| キーを押すたびに "**001**"、"**002**" ･･･とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④ と続きます。
***3** |◀◀, ▶▶| キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に ①、② と続きます。

ディスクタイトルのとき ：

"**DISC（ディスク）**"を選びます。

トラックタイトルのとき ：

目的のトラックNo.を選びます。
（数字キーでも選べます。）

- タイトルをつけていないときは、" ・・・・・・ "と表示されます。

2 タイトルを入力する

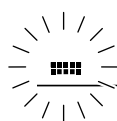
タイトルを入力する場合：

❶ 文字グループを選ぶ

DISPLAY / CHARAC.(ディスプレイ/キャラクター) キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。

"Aa" グループ：
A〜z、記号とタイトルメモ([1]、[2]、[3])

"12"グループ：
0〜9と記号

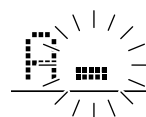
"アァ"グループ：
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

入力される場所

- 間違えたときは、CLEAR/DEL.(クリアー/デリート) キーを押します。
- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- TIME/SPACE(タイム/スペース) キーで、1文字分の空白を入力することができます。

❷ 文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

(例：カ ABC 2 を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。)

❸ 文字を確定する

カーソルが移動、次の文字入力待ち

- 文字を選んでいるとき他の数字キーや ▶▶ キー、DISPLAY / CHARAC.(ディスプレイ/キャラクター) キーなどを押したときも確定されます。

❹ 手順 ❶〜❸を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合：

❶ カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる

❷ 文字を削除する

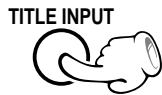
- 文字を削除(手順❷)しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❸ タイトルを入力する場合の❶〜❹を行う

次ページにつづく

3 タイトルの編集を実行する

❶ タイトルを書き込む

❷ 終了する

STORE..

002 KENWO

入力したタイトルがスクロールする

- 続けてタイトル編集するときは、手順 1-❷から繰り返してください。

4 MDを取り出す

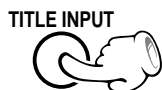
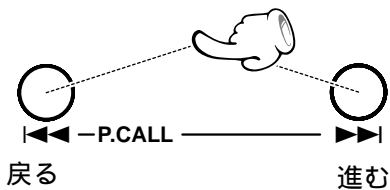
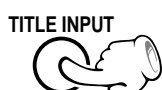
WRITING ➡ EJECT

情報を書き込み中　　MD排出

- ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを全て消す

停止中に押す

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ "ALL ERASE"を選ぶ

⏮、⏭ キーを押すと切り換わります。

① "DISC" : ディスクタイトル
② "001", "002"..... : トラックタイトル
③ "ALL ERASE" : ディスクとトラックタイトルの全消去
④ "[1]", "[2]", "[3]" : タイトルメモ

❸ 確定する

❹ ENTERキーを押す

❺ 終了する

キー機能について

◀◀ または ▶▶ キー：
カーソルの位置を移動します。

CLEAR /DEL. キー：
カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が１文字づつ前に詰められます。続けて押す（または押したままにして繰り返し消していく）と、簡単にタイトルを消すことができます。

タイトル編集文字一覧表

グループ／キー	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	スペース [1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPQRS	PQRSpqrs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXYZ	WXYZwxyz	9	ラリルレロ
0ワヲン		0	゛ ゜ ワヲン
+10 ' , :	' , : ? ! ; . " _ ` $ スペース		
+100 & ( ) –	& ( ) – / + * = < > # % @		

- "゛", "゜"はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

応用編

タイトルをコピーまたはメモして、他のMDや曲につける (TITLE COPY) (TITLE MEMO)

文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル（MD名）、トラックタイトル（曲名）、入力文字をタイトルメモ（"［1］"〜"［3］"）として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。

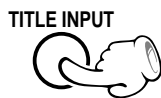
MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

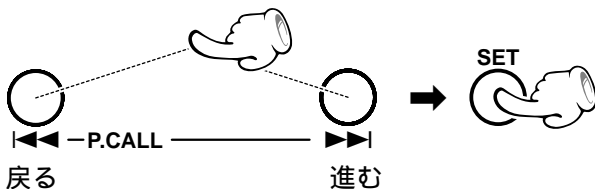
入力切換を"MD"にする → 36

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)

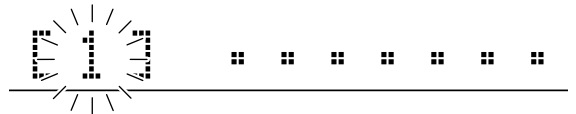
例：MDの7曲目に録音／登録している "A. Songs" というトラックタイトルをメモ番号［1］に保存する。

1 保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

停止中に押す

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 保存先のタイトルメモ番号（[1]〜[3]）の中から番号［1］を選び、確定する

中止するときは、もう一度 TITLE INPUT キーを押します。

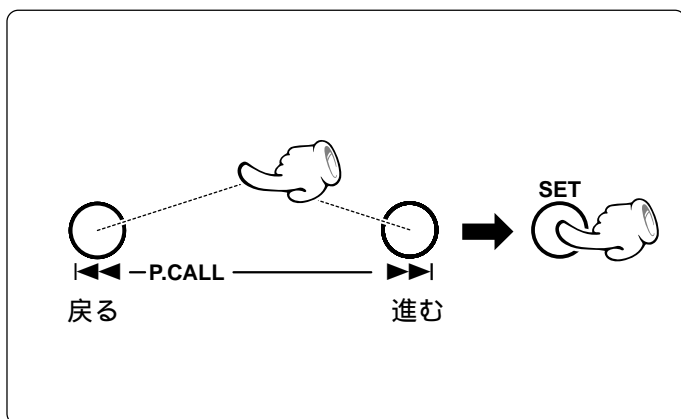
⏮、⏭ キーを押すと切り換わります。

① **"DISC"** : ディスクタイトル
② **"001", "002".....** : トラックタイトル
③ **"ALL ERASE"** : ディスクとトラックタイトルの全消去
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ

2 タイトルグループを選ぶ

❶ "Aa" を選ぶ

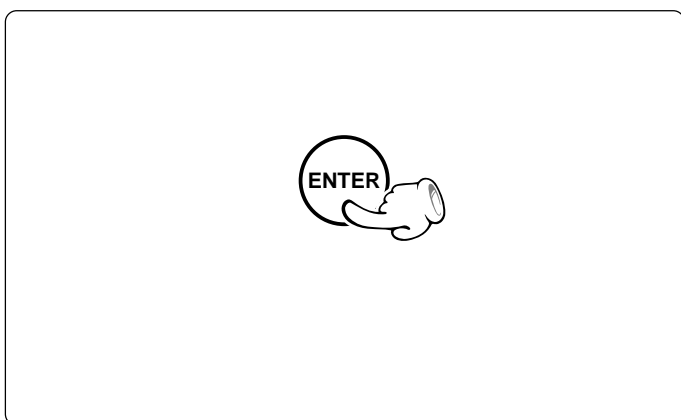
❷ ア 1 キーを押す

(2回押す)

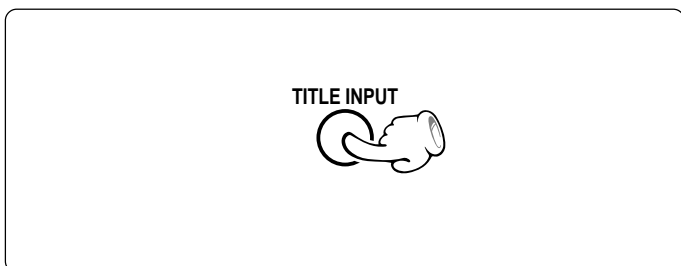
3 コピーする曲を選ぶ

7曲め "**A.Songs**" を選ぶ

A.Songs:007

Songs_ ←Aa

4 タイトルメモに保存する

必要があれば手順 1 - 2 〜 3 をくり返し、別のタイトルメモにコピーを続けます。

- 手順 1 で設定したタイトルメモ番号 "[1]" に"**A.Songs**"が登録されたことになります。

5 編集を終了する

タイトルメモの内容を他のディスク名、タイトル名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"の手順で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。
下記の手順の操作のみ ⏮、⏭ で選ぶ項目を変更してください。

手順 1 - 2 ： 保存先としてタイトルメモ番号の代わりにディスクタイトルやトラックタイトルを選ぶ
手順 3 ： コピーするタイトルメモ番号("[1]"〜"[3]")を選ぶ

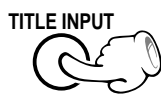
タイトルメモに文字を入力する(TITLE MEMO)

例：タイトルメモ番号[2]に"TREASURE"という文字を保存する

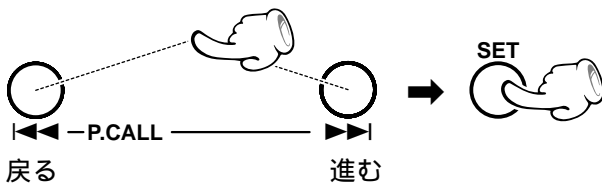
保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

停止中に押す

❶ TITLE INPUTキーを押す

中止するときは、もう一度 TITLE INPUT キーを押します。

❷ 保存先のタイトルメモ番号([1] ～ [3])の中から [2]を選び、確定する

⏮、⏭ キーを押すと切り換わります。

① **"DISC"** : ディスクタイトル
② **"001", "002".....** : トラックタイトル
③ **"ALL ERASE"** : ディスクとトラックタイトルの全消去
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ

❸ "MDや曲にタイトルをつける"の手順❷ - ❶ ～ ❷ - ❸ を行ない "TREASURE" という文字を入力する →87

❹ タイトルメモに保存する

- 手順 ❷ で設定したタイトルメモ番号 [2] に "**TREASURE**" が登録されたことになります。
- 必要があれば手順 ❶ ～ ❹ を繰り返し、別のタイトルメモに文字入力を続けます。

❺ 編集を終了する

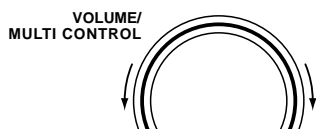
外部機器ソースを聴く

"外部ソース(音源)機器との接続"を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。 →16

❶ AUX キーを押す

押すたびに切り換わります。
① "AUX"(アナログ外部入力)
② "DIGITAL AUX"(デジタル外部入力)

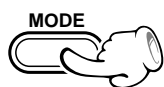
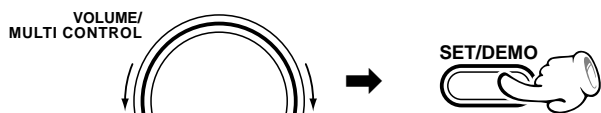
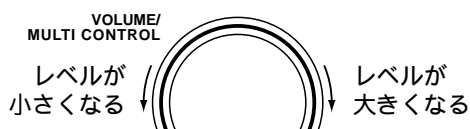
❷ 外部機器の演奏をはじめる

❸ 音量を調節する

入力レベルを調整する

音声 AUX入力 端子に接続された外部機器 (ビデオデッキ等)からの入力レベルを調整します。
CD、MD等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。(本体でのみ操作可能)

❶ AUX キーを押す(入力切換を "AUX" にする)

押すたびに切り換わります。
① "AUX"(アナログ外部入力)
② "DIGITAL AUX"(デジタル外部入力)

❷ MODE キーを押す

❸ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"INPUT LEVEL"を選び SET/DEMO キーを押す

INPUT LEVEL

❹ インプットレベルを調整する

AUX INPUT+1

レベル値

❺ 確定する

- -4 ～ +3 の範囲で調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

応用編

タイマーを使う

CD、MD の再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。設定後１回だけ働く O.T.T. タイマー、おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる SLEEP（スリープ）タイマー、設定を保存して毎日働く二つの PROG.（プログラム）タイマーがあります。

おやすみタイマー（SLEEP（スリープ））

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

O.T.T. タイマー →95

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生ができます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG.1（プログラム）, PROG.2（プログラム）） →96

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG.1（プログラム）, PROG.2（プログラム）） →96

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP（スリープ））

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →11 〜 →16

応用編

CD、MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEP（スリープ）キーを押す

- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ（スタンバイ）になります。
- **SLEEP（スリープ）**キーを１回押すと、残り時間の確認ができます。

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。（オートディマー機能）

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除

点灯

セットする時間

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、またはSLEEP（スリープ）キーを解除になるまで繰り返し押す

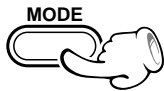
O.T.T. タイマーを設定する

電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが電源をオフにしたときの音量で再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフ になります。

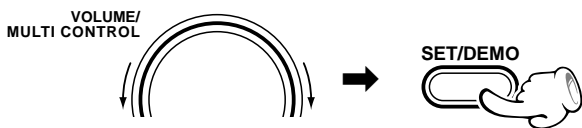
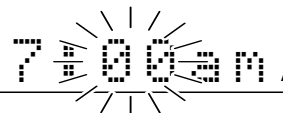
DVDビデオまたはVCDをタイマー再生すると期待した通りの再生が不可能な場合がありますのでお勧めできません。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください →22

❶ 聴きたいソースを選ぶ

❷ MODE キーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、"TIMER SET"を選びSET/DEMO キーを押す

TIMER SET

- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。
- 間違えたときは **MODE** キーを押して解除し、手順 ❷ からやり直してください。

❹ VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、"O.T.T. SET ?"を選びSET/DEMO キーを押す

❺ VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、オン時刻をセットする

- オン時刻は、5分単位で設定します。

❻ SET/DEMO キーを押す

❼ VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、"ON" を選び SET/DEMO キーを押す

O.T.T. > ON

❽ 音量を調整する

❾ I/⏻ キーで電源オフ(スタンバイ)状態にする(スタンバイ状態になると STANDBY/TIMER 表示がオレンジ色に点灯します)

O.T.T.タイマーで再生されている間は、プログラムタイマーは働きません。

- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、 **STANDBY/TIMER** 表示がオレンジ色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

♫ 予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

毎日働くタイマーを設定する

2系統(PROG.1、PROG.2)の24時間タイマー(毎回働きます)です。PROG.1、PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

DVDビデオまたはVCDをタイマー再生すると期待した通りの再生が不可能な場合がありますのでお勧めできません。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください →22

1 聴く(録音する)ための準備をする

MP3, CDを聴く

ディスクをセットする(プログラム再生はできません。) →28

MDを聴く

MDをセットする(プログラム再生は出来ません) →36

ラジオ放送を聴く

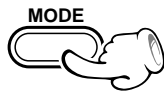
放送局をプリセットしておく。 →40

外部入力ソースを録音､再生する

AUX入力端子またはデジタル入力端子に接続された機器の録音、再生の場合は"他の機器との接続"を参照し接続を済ませて、外部機器のタイマー設定をする。 →16 →93

録音する

録音の準備をする。 →44

2 タイマー予約モードにする

❶ MODE キーを押す

❷ VOLME/MULTI CONTROL つまみを回して、"TIMER SET"を選んで SET/DEMO キーを押す

❸ VOLME/MULTI CONTROL つまみを回して、"PROG.1 SET ?" を選んで SET/DEMO キーを押す

PROG.1で午前10:30から午前11:30までラジオ放送を再生するときの例

TIMER SET

- 間違えたときは MODE キーを押して解除し、手順 2 からやり直してください。
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

3 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

❶ 時刻を合わせる

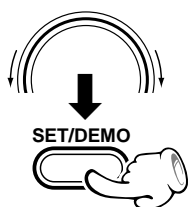
❷ 確定する

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い時間を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- 間違えたときは MODE キーを押して解除し、手順 2 からやり直してください。

4 希望の予約を設定する

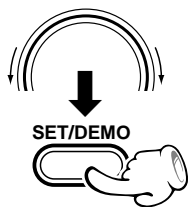
タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ

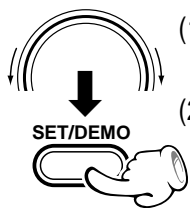
(1) "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ

① "PLAY"
(タイマー再生)
② "REC"
③ "AI PLAY"
(だんだん音が大きくなるタイマー再生)

(2) 確定する

❷ 入力ソースを選ぶ

(1)何を聴くか選ぶ

① "TUNER"(ラジオ)
② "DVD/CD"
③ "MD"
④ "AUX"
(外部ソースのアナログ機器)
⑤ "DIGITAL AUX"
(外部ソースのデジタル機器)

(2) 確定する

❸ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

次のページにつづく

タイマー録音をするとき

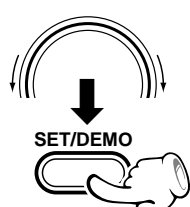
❶ モードを選ぶ

(1) "REC"を選ぶ

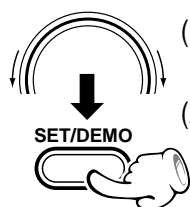
① "PLAY"
② "REC"
③ "AI PLAY"

(2) 確定する

❷ 入力ソースを選ぶ

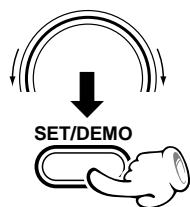
(1) 何を録音するか選ぶ

① "TUNER"
② "AUX"
(外部ソースのアナログ機器)
③ "DIGITAL AUX"
(外部ソースのデジタル機器)

(2) 確定する

❸ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

❹ 録音モードを選ぶ

(1)

① "STEREO"
(ステレオ録音モード)
② "LP2"
(ステレオ 2 倍長時間録音モード)
③ "LP4"
(ステレオ 4 倍長時間録音モード)
④ "MONO"
(モノラル録音モード)

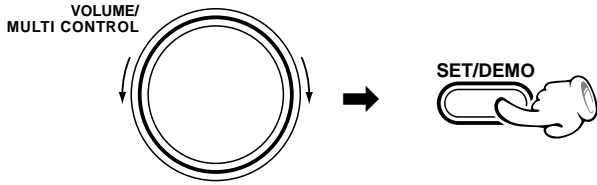
(2) 確定する

次のページにつづく

- "PLAY" を選ぶと電源をオフにしたときの音量で再生されます。
- タイマー録音中は音が出ません。音を聴きたいときは、**VOLME/MULTI CONTROL** つまみを回して(またはリモコンの **VOLUME** キーを押して)音量を調節してください。

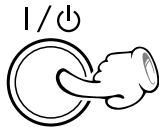
応用編

5 設定を予約する

VOLUME/MULTI CONTROL キーを回して、"ON" を選び SET/DEMO キーを押す

PROG.1 > ON

- **SET/DEMO** キーを押して、設定が終了すると "**COMPLETE**" と表示します。
- PROG. 2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順でおこなってください。

6 音量を調整する

7 電源をオフ(スタンバイ)にする

(スタンバイ状態になると STANDBY/TIMER 表示がオレンジ色に点灯します)

- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、 **STANDBY/TIMER** 表示がオレンジ色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

タイマーを解除するとき

電源がオンのとき、TIMERキーを押して解除したいタイマーの表示を消灯させる。

押すたびに切り換わります。

- 予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットするとき

電源がオンのとき、TIMERキーを押して予約したいタイマーの表示を点灯させる。

押すたびに切り換わります。

- ディスクの準備、音量の調整をしておきます。

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

応用編

メンテナンス

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ DVD（MP3、VCD、CD）、MDを取り出す

❷ MD ►/❚❚ キーを押す

MD NO DISC

❸ DVD/CD ►/❚❚ キーを押す

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

NO DISC

❺ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：

時計表示

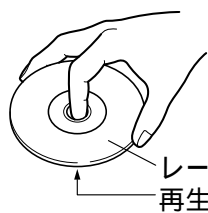
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

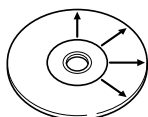
アンプ部

電源の状態（オンまたはスタンバイ）、インプットセレクタ、ボリューム値、トーンコントロール値
AUXインプット値、オートパワーセーブの設定、ディマーの設定

チューナー部

受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO（オート）/MONO（モノラル）の設定、タイマーの設定内容

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

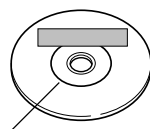
異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

「DTS」及び「DTS Digital（デジタル） Out（アウト）」はデジタルシアターシステムズの商標です。

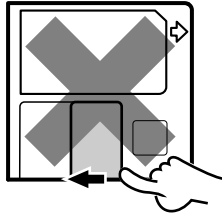
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY（ドルビー）及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ポイントソースオーディオ、Point Source Audio、及びロゴマークは、米国Kentech社の商標です。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

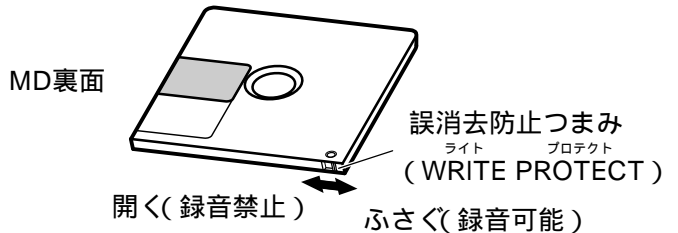
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

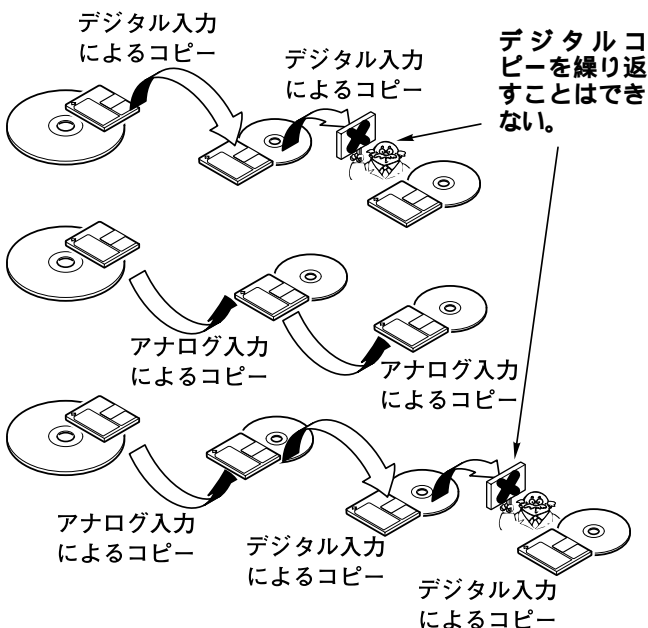
録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ(WRITE(ライト) PROTECT(プロテクト))を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

MD - Clip(クリップ)データについて

MD-Clip(クリップ) データ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clip(クリップ) のデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336(代表)
FAX.(03)5353-0337

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

用語解説

DVD（Digital Versatile Disc）：DVDビデオは、映画ソフトなど映像と音声を大きな記録容量とデジタル信号処理が可能にした高画質・高音質パッケージメディアなどが収録されているディスクです。

ビデオCD（VCD）：動画の収録されているCDです。画像情報を約1/120に、音声情報を約1/6に圧縮することにより、一般の音楽用CDと同じ直径12cmのディスクに、動画および音声を最大約74分間収録できます。

単に再生だけが可能なP.B.C.なしのディスク(バージョン1.1)と、メニューや各種の特殊再生（プレイバックコントロール）が可能な、P.B.C.付き（バージョン2.0）に対応しています。

MPEG（Moving Picture Expert Group）（DVD、VCD）：デジタル画像および音声の圧縮と、復元の国際標準規格とされている方式のことをいいます。

デコーダー：DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ダウンミックス：DVDのマルチチャンネルの音声信号を2チャンネルに集約して変換することをいいます。

サンプリング周波数：サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多い程元、原音を忠実に再現できます。

量子化ビット数：量子化ビット数とは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化するときの数値のことをいいます。1秒間に刻む回数をビット数といい、これが多い程、源音を精密に再現できます。

リニアPCM（Pulse Code Modulation）：圧縮処理を用いない音声信号のこと。DVD ではディスク容量が格段に多くなり、サンプリング周波数の高いリニアPCM信号を収録できます。

Bitstream（DVD）：ドルビーデジタル、DTS、MPEG などのいろいろな規格に従ったデータの流れの総称を Bitstream といいます。

ドルビーデジタル：ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、6chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率良くディスクに収めることができます。

DTS：Digital Theater Systems, Incが開発したデジタルサラウンド方式です。

タイトル／タイトル番号（DVDビデオ）：タイトルとはDVDビデオに記録されている映像や曲の一番大きい単位をいいます。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）に相当します。それぞれのタイトルに順番につけられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター／チャプター番号（DVDビデオ）：DVDビデオに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。それぞれのチャプターに順番につけられた番号をチャプター番号といいます。

トラック／トラック番号（VCD、CD）：トラックとはディスクに記録されている内容の区切り（「曲」や「章」など）のことです。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号といいます。一般の音楽用CDでは1曲に1トラックが割り当てられる場合がほとんどですが、VCDの場合、内容的な区切りとトラック番号は、必ずしも対応関係にありません。曲の飛び越しやプログラムなど、音楽用CDで行われる再生は、すべてトラック番号の情報に基づいているため、VCDではこのような再生が不可能な場合があります。

シネマボイス機能（DVD）：ドルビーデジタルサラウンドで収録された DVD で、セリフが聴き取りにくいときなどに使います。

字幕言語（DVD）：DVDディスクによっては複数の字幕言語が記録されているものがあります。

アングル（DVD）：DVDディスクによっては複数のアングルが記録されているものがあります。

音声言語（DVD）：DVDディスクによっては複数の音声言語が記録されているものがあります。

アスペクト比：テレビ画面に表示される映像の縦横比をいいます。通常のテレビの横：縦の比率は4：3、ワイドテレビは16：9の比率を持っています。

パン＆スキャン（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の一部を切り取り表示し、トリミングすることをいいます。一般にこのパン＆スキャンの切り取り位置は、再生する機器によって一様に定められますが、DVDディスクはこの位置を、ソフト制作者が指定し記録することができます。

レターボックス（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長映像を映し出すことをいいます。

フレーム（DVD/VCD）：動画の1コマ1コマのこと。テレビでは、１秒間にNTSC方式では30コマ、PAL方式では25コマの静止画像を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド（DVD/VCD）：１フレームの映像情報を２つに分けたもの。通常のテレビでは、このフィールドを交互に映し出すことで１フレームを構成します。

フレームスチル／フィールドスチル（DVD/VCD）：画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため、画像にブレが生じることがありますが画質は良くなります。フィールドスチルでは、画像情報が半分のため画質は荒くなりますが画面のブレはありません。

IPB 表示（DVD）：DVDでの映像方式のMPEG2では、1画面を以下の3つのピクチャータイプに分けデジタル信号に符号化しています。

I-ピクチャー（フレーム内符号化）：基準の映像であり、単独で画面を構成します。画質が最もよく、画質を調整する場合はこの静止映像が適しています。

P-ピクチャー（前方向予測符号化）：過去の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）から算出される映像です。

B-ピクチャー（両方向予測符号化）：前後の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）の比較から算出されるもので、映像情報がもっとも少ない画面です。

P.B.C.（Play Back Control）（VCD）：「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場所や情報を階層構造を用いて対話方式で再生する方式をいいます。

OSD（On Screen Display）：OSDとは、テレビ画面にメニューやアイコンなどを表示し、対話方式で操作する方法をいいます。

On Screen Message：操作をしたときにテレビ画面に表示される表示をいいます。

知識編

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントから抜き、STOP ■/TUNING MODE キーを押しながら、差し込み直す。

● リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● TVの入力切換えが合っていない、または電源が入っていない。 ● "接続のしかた" をみて正しく接続し直す。 →11 〜 →13 ● 音量を上げる。 ● MUTEをオフ(解除)にする。 →27 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く ● DTS対応のディスクを再生しても、本機のスピーカーから音声は出ません。ソフトの説明書に従って音声の切り換えを行ってください。
STANDBY/TIMER の表示が赤く点滅し、音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。
STANDBY/TIMER の表示がオレンジ色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →22
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →15 ● 音量を上げる。 →26
スピーカーの片側から音が出ない。	● "接続のしかた" をみて正しく接続し直す。 →13 ● 左右のバランスを調節する。 →27
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →22
タイマーが作動しない。	● "時刻合わせ" をみて現在時刻を合わせる。 →22 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →98 ● リモコンの TIMER キーで実行指定する。 →95 →98

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 ● 放送バンドを合わせる。 →40 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →40
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →43 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。 →41 →43

DVD/ CDプレーヤー部

症　状	処　置
再生がはじまっても、映像が出ない。	● TVなどの入力切換えが合っていない、または電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。 ➡15
早送り・早戻しで画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。故障ではありません。
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	● 接続コード類が正しく接続されていない。 ➡15 ● 雑音源と思われる機器が、そばにある。 ● ディスクに汚れやキズがついている。汚れは拭き取り、ディスクはキズをつけないように大切に扱ってください。 ➡100 ● 光学レンズが結露している場合があります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。 ➡99
再生がはじまるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類の検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。
テレビ画面に警告が表示され再生ができない。	● ディスク表面に指紋や汚れがついていると再生映像が乱れたり音飛びをする場合があります。やわらかい布などで、汚れを放射状にふきとってください。 ➡100 ● ディスクを斜めに置いたり、重ねて置いているときは、ディスクを正しく入れ直してください。 ➡28 ● 視聴制限または、リージョンコードにより再生できない。 ➡25
画面の上下が欠ける。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットが合っていない。 ➡23
VCDのメニュー再生ができない。	● P.B.C.をオフにしているときはメニュー再生できません。 ➡51 ● プレイバックコントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。
字幕がでない。	● 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● 字幕言語の切り換えが "Off(オフ)" になっている。 ➡33
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルが切り換えられない。	● 複数のアングルの入っていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。またアングルの記録されていない部分では、アングルを切り換えられません。
視聴制限（Rating(レーティング)）が変更できない。	● パスワードを紛失してしまった場合は、初期設定の内容を工場出荷状態に戻してください。 ➡104
設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。

症　状	処　置
操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	● "**オンスクリーンメッセージ**"が "**Off**" になっている場合は、 "**On**" にします。 →54
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
禁止アイコンが表示され、操作を受け付けない。	● DVDやVCDは、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがありますのでソフトに従った操作をしてください。また本機の状態により操作が制限されている場合もあります。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）
*2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）
*3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

MDレコーダー部（その他の症状）

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済MDまたは再生用MDを入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なMDに取り換える。 →101 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →44
録音レベルが低い。 音がひずむ。（AUX、DIGITAL（デジタル） AUX 使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。AUX入力レベルを調節する。 →46 →93
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →20 ● 操作範囲内で操作する。 →20

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	● 74分以内に101曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
UTOC ERROR	● UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う。 → 85 それができないときは、MDを取り換える。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 → 64
PGM Mode	● プログラムモードのときにランダム再生、MDの編集をしようとしている。プログラムモードを解除する。 → 65
PLAY ONLY	● 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED	● MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。 → 101
RANDOM Mode	● CDランダムモードのときに O.T.E. 録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 → 68
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
CAN'T COPY	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。
TEXT FULL	● 3Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字("LP : "も含む)までです。
" ? " の点滅	● 設定やMDの編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

* すべての MD には音声信号以外に TOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOC とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用 MD に特有な情報を UTOC と呼びます。この UTOC には、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話( ) -

定格

本体部

［アンプ部］

実用最大出力（P.S.A. on時、1チャンネル動作時）
　ライト、レフト .... 5 W+5 W（EIAJ 8 Ω）
　センター .... 5 W（EIAJ 8 Ω）
　サブウーファー .... 20 W（EIAJ 8 Ω）
入力感度/インピーダンス
　AUX .... 200 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス
　AUX .... 200 mV / 100 kΩ

［チューナー部］

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
　アンテナインピーダンス .... 75 Ω
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

［MDレコーダー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC, ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

［DVDプレーヤー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下
信号方式 .... NTSC

［電源部・その他］

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 65 W
最大外形寸法 .... 幅　：240 mm
高さ：139 mm
奥行：360 mm
質量（重量） .... 6.1 kg(正味)

スピーカー部

［サブウーファー］

　エンクロージャー .... バスレフ型
　スピーカーユニット .... 130 mm
　インピーダンス .... 8 Ω
　最大入力 .... 30 W
　最大外形寸法 .... 幅　：188 mm
高さ：139 mm
奥行：258 mm
　質量（重量） .... 3.4 kg

［サテライトスピーカー］

　スピーカーユニット .... 50 mm × 3
　インピーダンス .... 8 Ω
　最大入力 .... 10 W
　最大外形寸法（サテライトスピーカー、
　スタンドを含む） .... 幅　：136 mm
高さ：212.5 mm
奥行：136 mm
　質量（重量）（サテライトスピーカー、
　スタンドを含む） .... 550 g

知識編

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水の凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。